

# Pioneer

## 取扱説明書

楽ナビ(メインユニットタイプ)

AV一体型メモリーナビゲーション

# AVIC-RW303 II

# AVIC-RZ303 II

お使いになる前に

基本操作

ナビゲーション

オーディオ

スマートループ

ドライブレコーダー

ナビスタジオ

オプション品

困ったときは

付録

### ご購入いただきありがとうございます

ご使用前に必ず本書をよくお読みいただき、記載された内容に従って正しくお使いください。本書は紛失しないよう車の中に保管してください。本機の詳しい取扱・操作方法については、パソコンや携帯電話からもお調べいただけます。詳しくは、10～11ページをご覧ください。

### お客様登録のお願い

ご登録いただいた商品の安全に関する重要なお知らせをご案内する場合がありますので、下記のいずれかの方法にてご登録手続きをお願いいたします。(データ更新をする際にもお客様登録が必要となる場合があります。)なお、登録時に保証書に記載されている内容が必要になりますので、保証書をお手元にご用意ください。

#### インターネット利用によるご登録

インターネットに接続して、パソコンから登録を行います。→「インターネットを利用して登録する」(P19)

#### 本機の通信機能利用によるご登録

本機の通信機能を利用して、登録を行います。→「本機の通信機能を使って登録する」(P19)

### バージョンアップ(地図更新について)

2021年11月開始(予定)のマップチャージ(有償)にてバージョンアップすることができます。→「バージョンアップについての注意事項」(P13)、「バージョンアップ(マップチャージ)をする」(P57)

# carrozzeria

# 安全上のご注意 (安全にお使いいただくために必ずお守りください)

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

 <b>危険</b>	「人が死亡または重傷を負う可能性が差し迫って生じることが想定される内容」です。
 <b>警告</b>	「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」です。
 <b>注意</b>	「人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」です。

■ お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

 注意 (警告を含む) しなければならない内容です。	 必ず行っていただく強制の内容です。
 禁止 (やってはいけないこと) の内容です。	

ON-004-001

## 接続・取り付け

### 警告



禁止

製品の前面や通風口を塞いだり、紙やフロアマット、布で覆わない  
放熱が不十分となり、内部温度が上昇し、火災や事故の原因となります。

エアバッグの動作を妨げる場所には、取り付けや配線をしてはいけない

エアバッグが動作しなかったり、動作したエアバッグで製品や部品が飛ばされ死亡事故の原因となります。

車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。

取り付けやアース配線に、保安部品 (ステアリング、ブレーキ、タンクなど) のボルトやナットを使用してはいけない

制御不能や発火、交通事故の原因となります。

視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしてはいけない

交通事故やケガの原因となります。



禁止

電源コードの被覆を切って、ほかの機器の電源を取らない

電源コードの電流容量がオーバーすると、火災や感電、故障の原因となります。

アンテナは、保安基準に適合しない場所に貼り付けたり、再貼り付けや汎用の両面テープで貼り付けたりしてはいけない

視界不良やアンテナがはがれて、事故の原因となります。

車両メーカーが指定する禁止エリアに、取り付けや配線をしてはいけない

カメラ装置などの動作を妨げるおそれがあり、交通事故の原因となります。車両メーカー、カーディーラーに注意事項を確認してから作業を行ってください。

適合車種以外には取り付けしてはいけない

交通事故やケガの原因となります。適合車種については、販売店にお問い合わせください。



禁止

DC24V車では使用してはいけない

本機はDC12V⊖アース車専用です。DC24V車で使用すると火災や故障の原因となります。



強制

## 取付・取外し・配線は、 専門技術者に依頼する

誤った取り付けや配線、取り外しを行うと、車に支障をきたす場合があります。

また、お客様ご自身による取付・配線はケガの原因となりますので、販売店などにご依頼ください。

### 説明書に従って接続・取り付ける

説明書に従わずに接続・取り付けを行うと、火災や故障の原因となります。

### コードの被覆がない部分はテープなどで絶縁する

ショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

### コード類は運転操作を妨げないように引き直し固定する

ステアリングやセレクトレバー、ブレーキペダルなどに巻きつくと、事故の原因となります。

**作業前はバッテリーの⊖端子を外す**  
＋と－経路のショートにより、火災、感電やケガの原因となります。

### パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認し、干渉しないように取り付ける

穴あけドリル等がパイプ類、タンク、電気配線などと干渉すると、火災、故障の原因となります。

### 付属の部品を使用し、固定する

付属の部品以外を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れて運転の妨げになり、事故やケガの原因となります。

### 取り付けと配線が終わったら、車の電装品が正常に動作するか確認する

正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、交通事故の原因となります。

### 車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないように配線する

断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

### 取り付け場所の汚れ（ごみ、ほこり、油）などを取り除き、しっかりと取り付け

走行中に外れ、交通事故やケガの原因となります。乗車時に取り付け状態（接着やねじのゆるみなど）を点検してください。



## 注意



禁止

ヒーターの吹き出し口の近くに設置しない

製品の通風口、放熱板を塞ぐ場所には設置しない

熱風が直接当たったり、放熱が不十分となり、内部温度が上昇し、火災や事故の原因となります。

直射日光やヒーターの熱風が直接当たる場所に取り付け

ない  
内部温度が上昇し、火災や故障の原因となります。

本機を不安定なところ

に取り付け  
ない  
落下などによる事故やケガ、故障の原因となります。

コード類は途中で切断しない

コード類にはヒューズがついている場合があるため、保護回路が働かなくなり、火災の原因となります。

コード類の配線は、車体の高温部・金属部・可動部に接触させない

断線やショートによる火災や感電の原因となります。



禁止

水のかかるところや結露、ほこり、油煙の多いところ

に取り付け  
ない  
発煙や発火、故障の原因となります。



強制

アンテナやカメラは車幅や車の前後からはみ出さない場所

に取り付け  
る  
歩行者などに接触し、事故の原因となります。

アンテナコード等を車内に引き込む際は、雨水が侵入しないように配線する

雨水が車内に侵入すると、火災や感電の原因となります。

# 使用方法

## 警告



禁止

**画面だけを見ながらの運転はしない**  
必ず目視による安全確認を行いながら運転してください。距離感の違いとカメラの死角により人や物にぶつかるおそれがあり、思わぬ事故の原因となります。

**大きな音量で使用しない**  
警告音など車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となります。

**ネジなどの小部品は乳幼児の手の届くところに置かない**  
誤って飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。

**液体で濡らさない**  
発煙、発火、感電の原因となります。

**ぶら下がったり、押したり引っ張ったりして、力を加えたりしない**  
ケガや車両の変形および故障の原因となります。

**画面が映らない、音が出ない、音声割れる、歪みなどの異常・故障状態で使用しない**  
思わぬ事故や火災、感電の原因となります。



分解禁止

**分解や改造をしない**  
交通事故や火災、感電の原因となります。



強制

**実際の交通規制に従って走行する**  
ルート案内が実際の交通規制に反している場合があります、交通事故の原因となります。

**ヒューズを交換するときは、規定容量（アンペア）のヒューズを使用する**

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。

**夜間、トンネルなど暗い場所で使用する場合、製品の明るさは運転に支障のないように適切に調整する**  
事故の原因となります。

## 注意



禁止

本機は自動車用途以外で使用しない  
発煙や発火、感電やケガの原因となります。

**本機の上に重いものを乗せたり、乗ったりしない**  
**落下させる、たたくなど、強い衝撃を与えない**  
故障や火災の原因となります。

**運転者は運転中に画像を注視しない**  
前方不注意となり交通事故の原因となります。

**可動部やメディア挿入口に手や指、異物を入れない**  
ケガや感電、火災や故障の原因となります。



接触禁止

**スピーカーやアンプの放熱部に手を触れない**  
やけどの原因となります。



注意

**車両から乗り降りするときなどは、製品に頭部をぶつけないように注意する**  
ケガの原因となります。

## 異常時の問い合わせ

## 警告



強制

**万一異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ず販売店かサービス相談窓口にご相談する**  
そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。



# 👉 こんな機能が使えます

## はじめに

本機をより便利にお使いいただくためには、事前に行っていただきたい設定や登録作業などがあります。

マイセットアップ

▶15ページ

お客様登録

▶19ページ

スマートループ  
設定・利用登録

▶50ページ

ナビスタジオ  
ダウンロード  
セットアップ

▶56ページ

## ナビゲーション

地図操作、検索、ルート案内、渋滞情報の活用など多彩なナビゲーション機能をお使いいただけます。

地図  
表示/操作

▶33ページ

ルート案内  
検索

▶37ページ

渋滞対応

▶41ページ

## スマートループ

当社独自のスマートループ渋滞情報など、各種通信機能をお使いいただけます。

お客様登録が必要 ▶19ページ

スマートループ  
とは

▶50ページ

渋滞情報表示

▶52ページ

## AV

多彩なメディアで音楽や映像をお楽しみいただけます。

その他  
AVソース

▶45ページ

## その他

最新の道路情報を反映できるバージョンアップが可能。各種通信機器の接続やバックカメラもお使いいただけます。

バージョンアップ

▶57ページ

通信機器

▶12ページ

ナビスタジオ

▶55ページ

その他  
対応機器

▶58ページ

▶：本書内の参照ページです。

□：製本版やWEB版のユーザーズガイドをご覧ください。

ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書のP11をご覧ください。

# 目次

## お使いになる前に

はじめに .....	10
本書の見かた .....	12
ご使用前に知っておいていただきたいこと ...	12
緊急施設の検索やルート案内について .....	12
地図データについて .....	12
バッテリー上がりを防ぐために .....	12
バッテリーを外すときのご注意 .....	12
本機と接続可能な通信機器について .....	12
パソコンリンクソフトのご案内 .....	12
SDカードについて .....	12
著作権 .....	13
バージョンアップについての注意事項 .....	13
お客様が保存されたデータについて .....	13
セキュリティロック機能について .....	13
アフターサービス .....	13
オートアンテナ車のご注意 .....	13
設定の初期化について .....	13
初期学習について .....	14
その他 .....	14
本機に接続可能なオプション品 .....	14
マイセットアップをしよう .....	15
マイセットアップ画面の見かた .....	15

## 基本操作

本機の基本操作を覚えよう .....	16
各部の名称と主な働きを覚えよう .....	16
ナビゲーションの電源について .....	17
テレビを見るための準備をしよう .....	18
受信可能なチャンネルを本機に登録する (チャンネルスキャン) .....	18
自宅を登録しよう .....	18
お客様登録(無料)をしよう .....	19
インターネットを利用して登録する .....	19
本機の通信機能を使って登録する .....	19
ディスクの入れかた・取り出しかた ...	20
ディスクの入れかた .....	20
ディスクの取り出しかた .....	20
SDカードの入れかた・取り外しかた ...	21
SDカードの入れかた .....	21
SDカードの取り外しかた .....	21
画面を見やすく調整してみよう .....	22
モニターの角度を調整する .....	22
画質を調整する .....	22
地図画面とAVソース画面を同時に 表示してみよう .....	23

ナビゲーションの音量を調整してみよう ...	23
カスタムキーの操作を覚えよう .....	24
カスタム機能を設定する .....	24
カスタム機能を使う .....	24
現在地を登録してみよう .....	25
登録した場所を編集してみよう .....	25
メニューの操作を覚えよう .....	26
セントラルメニュー .....	28
ショートカットメニューの操作 .....	30
リスト画面の操作を覚えよう .....	31
基本的なリストの操作 .....	31
その他のリスト操作 .....	31

## ナビゲーション

地図の見かたや操作を覚えよう .....	33
現在地画面の見かた .....	33
昼間と夜間の色の違いについて .....	33
画面下部に表示されるアイコンについて ...	33
地図を動かす .....	34
地図のスケールを変える .....	35
地図の向きを変える .....	36
地図の表示方法を変える .....	36
目的地を探してルート案内してみよう ...	37
ルート案内中画面の見かた .....	39
ルート案内中の主な機能 .....	40
ルート案内中の主な操作 .....	40
ナビゲーションの機能設定をしてみよう ...	42
機能設定の設定項目一覧 .....	42

## オーディオ

音楽や映像を楽しもう .....	45
AVソースを切り換える .....	45
AVソースをOFFにする .....	45
AVソースを操作する .....	45
ソース別設定を行う .....	46
オーディオ設定をしてみよう .....	46
オーディオ設定の詳細設定項目一覧 .....	47
再生できるファイルとメディアの種類 ...	48
音声コーデックについて .....	48
映像コーデックについて .....	49
音声コーデックと映像コーデックの 組み合わせについて .....	49

## スマートループ

スマートループを利用してみよう.....	50
スマートループ渋滞情報を 利用するために必要なこと.....	50
通信機器を準備する.....	50
スマートループ設定をする.....	50
スマートループ渋滞情報の取得のしかた.....	52
スマートループ渋滞情報取得画面の 見かた.....	52

## ドライブレコーダー

ドライブレコーダーを使ってみよう....	53
ドライブレコーダーリンク機能について.....	53
ドライブレコーダーリンク機能の 設定をする.....	53
接続状態を確認する.....	54
ドライブレコーダーの映像を表示する.....	54

## ナビスタジオ

ナビスタジオを使ってみよう.....	55
動作環境について.....	55
ナビスタジオのダウンロード・ セットアップについて.....	56
SDカードを本機に登録する.....	56
ナビスタジオを使ってできること.....	56
バージョンアップ(マップチャージ)をする.....	57

## オプション品

オプション品を使って 本機をより楽しもう.....	58
------------------------------	----

## 困ったときは

故障かな?と思ったら.....	59
共通項目.....	59
オーディオ共通項目.....	60
FM/AM.....	60
DVD.....	61
CD、ROM (WMA/MP3/AAC).....	61
ワンセグテレビ.....	62
SD/USB.....	62
iPod.....	63
エラーメッセージと対処方法.....	64
共通項目.....	64
ナビゲーション.....	64
渋滞情報.....	64
通信.....	64
SDカード.....	65
USB.....	65
音楽ディスク.....	65
映像ディスク.....	65
iPod.....	66
ワンセグテレビ.....	66
SD/USB.....	66

## 付録

本体リセットのしかた.....	67
取り扱い上のご注意.....	67
液晶画面の正しい使いかた.....	67
ディスクの正しい使いかた.....	68
SDカードに関するご注意.....	69
USB機器に関するご注意.....	69
iPodに関するご注意.....	69
保証書とアフターサービス.....	70
保証書.....	70
保証期間.....	70
修理について.....	70
補修用性能部品の最低保有期間.....	70
ご質問、ご相談は.....	70
仕様.....	70
VICS情報有料放送サービス契約約款.....	72
商標・著作権など.....	73
索引.....	78
五十音順.....	78
アルファベット順.....	79



## ユーザーズガイド

お客様の利用シーンなどに合わせて、知りたい情報を詳しく知ることができるマニュアルです。ユーザーズガイド閲覧時の通信料は、お客様のご負担となります。また、掲載内容は、予告なく変更される場合があります。

お  
使  
い  
に  
な  
る  
前  
に

### ■ユーザーズガイド（WEB版）

iPhoneやスマートフォン、タブレットやパソコンを使って閲覧することができます。インターネットに接続可能な環境で、下記URLを入力してアクセスしてください。

<https://jpn.pioneer/ja/support/manual/navi/20raku2/>



#### メモ

- ユーザーズガイド（WEB版）の画面は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。



### ■ユーザーズガイド（PDF版）

ユーザーズガイドをPDF形式で閲覧・ダウンロードすることができます。

### ■ユーザーズガイド（製本版）

ユーザーズガイドを製本した印刷物として有償販売いたします。購入をご希望される場合には、裏表紙に記載の「部品受注センター」へお問い合わせください。（ご注文の際、「CX Y6992」とお伝えいただくとスムーズです。）

## 本書の見かた

表記	意味
!	注意マーク 操作上、注意していただきたいことや、本製品の性能を維持するうえで注意していただきたいことについて説明しています。
メモ	メモ 操作する上でのヒントや便利な使いかたなどについて説明しています。
戻る	タッチキーを表します。 例：戻るにタッチする
メニュー	ナビゲーション本体のボタンを表します。 例：メニューを押す
→斜体	参照していただきたい本文タイトルやページ、または他の説明書を導きます。 例：→場所を探す
長く押す / 長くタッチする	「ピッ」と音がするまで押す（タッチする）ことを示します。
押し続ける / タッチし続ける	押し続けている（タッチしている）間だけ操作することを示します。

### メモ

- 本書では、SDメモリーカード、SDHCメモリーカードおよびSDXCメモリーカードを総称して「SDカード」と表記しています。
- 本書では、iPod、iPhone、iPadを有線で接続して使用する場合を総称して「iPod」と表記しています。
- 本書で使っているイラストや画面例は、実際の製品と異なることがあります。
- 本書に記載されているイラストや画面例は機種によって異なります。
- 実際の製品の画面は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。
- 本書に記載している製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。
- 本書では、「NAVI\* STUDIO (楽ナビ/EVナビ用 Ver.3.2)」を「ナビスタジオ」と表記しています。

## ご使用前に知っておいていただきたいこと

### 緊急施設の検索やルート案内について

病院、消防署、警察署など、緊急施設の検索やルート案内については、本機に依存せず、各施設に直接ご確認ください。

### 地図データについて

本機のご使用に当たっては、地図ディスクは必要ありません。地図データは、本機内蔵のメモリーに収録されています。

### バッテリー上がりを防ぐために

本機をお使いになるときは、必ず車のエンジンをかけてください。エンジンがかかっているときに本機を使用すると、バッテリーが消耗します。

### メモ

- 環境保護のため、必要以上の停車中のアイドリングは避けましょう。

### バッテリーを外するときの注意

セキュリティロックが有効状態の場合、点検などでバッテリーを外すと、次回起動時にパスワードの入力が必要です。また、以下の内容が工場出荷時の設定に戻ります。必要な情報は事前に控えておいてください。  
自車方位 / 画質調整 / 画面角度調整 / オーディオ設定の内容 / ラジオ、交通情報のプリセット内容 / 各AVソースの再生モード など

### 本機と接続可能な通信機器について

本機に接続可能な通信機器は別売のデータ通信専用通信モジュール「ND-DC2」です。

通信モジュールは、通信機能のみのご利用となります。

### メモ

- NTTドコモの第3世代移動通信方式「FOMA」のサービスが2026年3月31日に終了することに伴い、本機で利用可能な「ND-DC2」も「FOMA」終了以降は利用できません。予めご了承ください。

### パソコンリンクソフトのご案内

パソコンリンクソフト「NAVI\* STUDIO」(以降ナビスタジオ)をパソコンにインストールしてお使いいただく、最新の地図やスマートループ渋滞情報、ウェザーライブなどのデータをネットワーク経由で取得することができます。保存されたデータや情報は、SDカードを本機に挿入して反映させることができます。ナビスタジオのご利用に関して、詳しくは「ナビスタジオを使ってみよう」(→P55)をご覧ください。

### SDカードについて

- 本機は、SDメモリーカード、SDHCメモリーカードおよびSDXCメモリーカードに対応しています。

- ナビスタジオ (→P55) を使った全データ更新には、16 GB以上のSDカードが必要です。お使いいただいているパソコンがSDHCメモリーカードおよびSDXCメモリーカードに対応していない場合には、SDHCカードおよびSDXCメモリーカードに対応したカードリーダー/ライターなどをご使用ください。
- プローブ情報やナビスタジオの編集データの保存のためには、256 MB以上のSDカードが必要です。
- 本機はすべてのSDカードの動作を保証するものではありません。
- SDカードへのアクセス中は、SDカードを抜かないでください。また、車のキースイッチ位置を変更しないでください。データが破損する恐れがあります。そのような行為において破損した場合、補償できません。
- SDカードは寿命があります。普通に使用していても正常に書き込みや消去などの動作をしなくなる場合があります。
- お持ちのパソコンで認識しているSDカードが、まれに本機で認識しない場合があります。この場合、SDカードの不具合によっては、専用のフォーマットツールでフォーマットすることにより認識する場合があります。また、パソコンの標準機能でフォーマットをするとSD規格非準拠のフォーマットになるため、データの書き込み、あるいは読み出しができないなどの不具合が発生することがありますので、専用フォーマットソフトでフォーマット作業を実行することが推奨されています。ただし、フォーマットした場合は、SDカードに記録されたデータがすべて消失します。フォーマットの際は、必ずSDカードデータのバックアップを作成してから行ってください。
- SDカードのフォーマットソフトウェアは、SDアシエーションの以下ホームページより入手できます。  
<https://www.sdcard.org/jp/>
- フォーマット作業によるSDカードの不具合修復を弊社が保証するものではありません。また、本作業により、SDカードのデータ消失並びに、その他損害が発生した場合は、弊社として責任を負えません。フォーマットソフトの説明書などをよくお読みになり、あくまで、お客様の判断・責任の元でフォーマット作業は実行してください。

## 著作権

本製品に収録されたデータ及びプログラムの著作権は、弊社及び弊社に対し著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属しております。お客様は、いかなる形式においてもこれらのデータ及びプログラムの全部または一部を複製、改変、解析などすることはできません。

## バージョンアップについての注意事項

- 2021年11月開始 (予定) のマップチャージ (有償) にてバージョンアップすることができます。
- マップチャージには、全データ更新 (アプリケーション、地図データ、道路データ、地点情報データなど含めたすべてのデータ) と、地点情報データのみ更新、道路データのみ更新の3種類があります。全データ更新は年2回、地点情報データの更新および道路データの更新は毎月を予定しています。(整備スケジュールの都合上、更新対象がない月もあります。)
- マップチャージの流れなど、詳しくはP57をご覧ください。

- 通信モジュールをお使いのお客様は、地点情報データの更新と道路データの更新を本機の通信機能を使って行うこともできます。
- 全データ更新をする際は、16 GB以上のSDカード (8 GB・2枚でも可) が必要です。
- インターネット接続環境をご利用になれないお客様へは、年1回、SDカードによるバージョンアップソフトの販売を予定しています。詳細は弊社ホームページにてご案内する予定です。
- バージョンアップのお知らせについては登録時に「新製品などに関するご案内」に同意いただいた方のみEメールにてご案内させていただきます。

## お客様が保存されたデータについて

- 本機の地図データ更新および修理において、お客様の登録されたデータの保証については、ご容赦ください。
- ナビゲーションに登録された各種機能設定などの内容は、事故や故障・修理・その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は控えをお取りください。万一内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、一切の責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。

## セキュリティロック機能について

本機は、パスワードによるセキュリティロック機能 (盗難抑止機能) を内蔵していません。出荷時は、セキュリティロック機能は動作していません。必要に応じてセキュリティロック機能を設定してください。設定には、通信機器の接続と設定が必要です。⇒『ユーザーズガイド』(ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書のP11をご覧ください。)

## アフターサービス

- 弊社からの本製品の安全に関する重要なお知らせは、お客様登録 (→P19) をしていただいたお客様にいたします。必ず登録をしていただきますようお願いいたします。
- 本製品のアフターサービスは、お買い上げ販売店を窓口として実施しておりますが、移動先や引越越しなどにより、お買い上げ販売店に修理が依頼できない場合には、修理受付窓口へご相談ください。

## オートアンテナ車のご注意

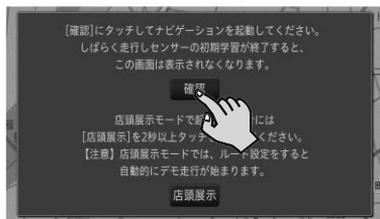
本機をオートアンテナ車 (モーターアンテナ車) に取り付けた場合、エンジンスイッチのON (本機の電源ON) に連動してアンテナが上がります。屋内ではご注意ください。

## 設定の初期化について

ご購入後に設定した内容を工場出荷時の状態に戻すことができます。設定の初期化について、詳しくは『ユーザーズガイド』をご覧ください。(ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書のP11をご覧ください。)

## 初期学習について

センサー初期学習とは、センサーを利用可能にするために車や取付状態に合わせて学習を開始している状態のことです。センサーが利用可能になると、初期学習は終了します。初期学習中にエンジンをかけると以下の画面が表示されますので、**確認** にタッチしてください。**店頭展示**にはタッチしないでください。タッチしてしまった場合は、一度車のキーを抜いてから、エンジンをかけ直してください。センサー学習について、詳しくは『ユーザーズガイド』をご覧ください。(ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書のP11をご覧ください。)



## その他

- 著作権で保護された番組をビデオデッキなどで録画すると、著作権を保護するための機能が働き、正しく録画できません。また、著作権保護の機能により、ビデオデッキを介してモニターに出力した場合には、再生する時も画質が劣化することがあります。これらは機器の問題ではありません。著作権保護された番組を視聴するときは、本機とリアモニターを直接接続してお楽しみください。
- 製品の性能改善などを目的として、本機には動作履歴情報(測位結果など)を記録する機能があります。動作履歴情報にお客様の個人情報は含まれません。また、この情報は当社指定の拠点および当社指定の業務委託先でのみ解析ができるしくみになっており、お客様の同意をいただけた場合に限り使用いたします。
- 弊社は、本製品がお客様の特定目的へ合致することを保証するものではありません。
- 本製品の仕様及び外観は、改善のため予告なく変更する場合があります。その場合における変更前の本製品の改造、またはお取り換えのご要望には応じかねます。

## 本機に接続可能なオプション品

本機には、以下のオプション品が組み合わせできます。

- ナビ連動型ETC2.0ユニット「ND-ETCS2」
- ナビ連動型ETCユニット「ND-ETC9」
- iPod用USB変換ケーブル(30ピンコネクタ対応機種AV用)「CD-IUV51M」
- iPhone/iPod用USB変換ケーブル「CD-IU010(50 cm)」
- iPhone/iPod用USB変換ケーブルセット「CD-IU021」
- AV入力用変換ケーブル「CD-VRM200(2 m)」
- USB接続ケーブル「CD-U120(2 m)」 「CD-U420(1.5 m)」
- データ通信専用通信モジュール「ND-DC2」\*
- リアモニター「TVM-Wシリーズ」「TVM-FWシリーズ」「TVM-PWシリーズ」
- 汎用バックカメラユニット「ND-BC8Ⅱ」
- ドライブレコーダー「VREC-DS600」
- ステアリングリモコンケーブルまたはステアリングリモコンアダプター

※：接続には別売のUSB接続ケーブル「CD-U120(2 m)」または「CD-U420(1.5 m)」が必要です。

## メモ

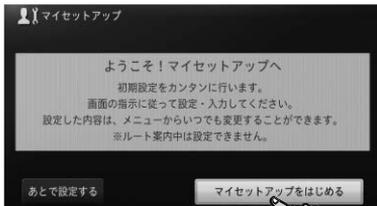
- データ通信専用通信モジュールのご購入代金には、最大約3年間分(ご使用開始日から当月末までの日数分+35ヶ月間分)の通信費および接続料金が含まれています。3年間経過後、継続して通信機能をご使用になる場合には別途UIMカードの購入が必要です。なお、電話としての機能はありませんのでご注意ください。
- NTTドコモの第3世代移动通信方式「FOMA」のサービスが2026年3月31日に終了することに伴い、本機で利用可能な「ND-DC2」も「FOMA」終了以降は利用できません。予めご了承ください。
- バックカメラをお使いになるときは、バックカメラ設定の入力を「ON」にしてください。また、バックカメラの極性(「HIGH」または「LOW」)も設定してください。⇒「取付説明書」—「バックカメラの設定を行う」
- ステアリングリモコンケーブルまたはステアリングリモコンアダプターをお使いになるときは、ステアリングリモコンの設定を行ってください。ステアリングリモコンの設定、適合情報については以下のホームページをご覧ください。  
< [https://jpn.pioneer/ja/carrozzeria/support/steering\\_remotecontrol/](https://jpn.pioneer/ja/carrozzeria/support/steering_remotecontrol/) >
- 型番は代表例です。車種や条件によっては組み合わせできない場合があります。詳しくは販売店へお問い合わせください。
- 各オプション品に関する詳細は、カタログまたは弊社ホームページにてご確認ください。

## マイセットアップをしよう

本機の基本的な設定を、画面の指示に従ってかんたんに行うことができます。

本機をご購入後、はじめてお使いになるときは、自動的にマイセットアップが起動します。

### 1 マイセットアップをはじめるにタッチする



次の順に設定を行います。

- 音量設定
- ↓
- 自宅設定
- ↓
- 燃費推定(電力消費率推定<sup>※</sup>) / 車両情報
- ↓
- リモコン設定
- ↓
- ETC/ETC2.0取付状態設定
- ↓
- プローブ情報送信設定
- ↓
- スマートループお試し登録

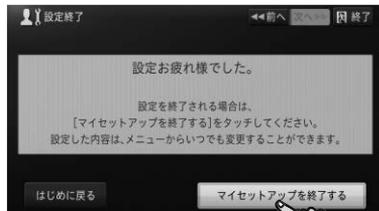
それぞれの画面の指示に従って設定してください。

※：EVモード設定がONの場合

### メモ

- 専用のステアリングリモコンケーブル（別売）および取付キット（別売）を使用する場合は、リモコン設定の画面にてステアリングリモコン設定を行ってください。設定を行わないと動作しません。
- ルート案内中は、設定できません。
- あとで設定したい場合は、**あとで設定する**にタッチしてください。次回起動時もマイセットアップが起動します。
- マイセットアップは、設定・編集メニュー（→P30）からも行えます。

### 2 マイセットアップ終了画面まで進んだら、マイセットアップを終了するにタッチする



お使いになる前に

### マイセットアップ画面の見かた

**終了**  
マイセットアップを終了します。

**次へ▶▶**  
設定内容を保存し、次の画面を表示します。

**◀◀前へ**  
設定をやり直す場合など、一つ前の画面を表示します。



**ガイダンスメッセージ**  
機能の概要と操作方法をかんたんなメッセージで表示します。

**マイセットアップ進捗バー**  
マイセットアップがどこまで進んでいるか確認できます。

# 本機の基本操作を覚えよう

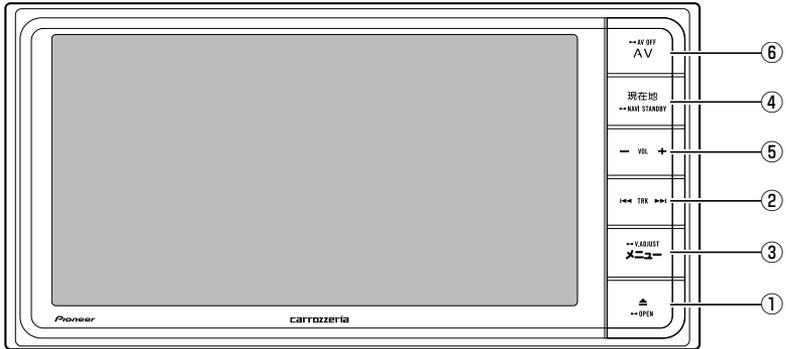
ナビゲーション本体、マイクの各部の名称と働きを説明します。

## 各部の名称と主な動きを覚えよう

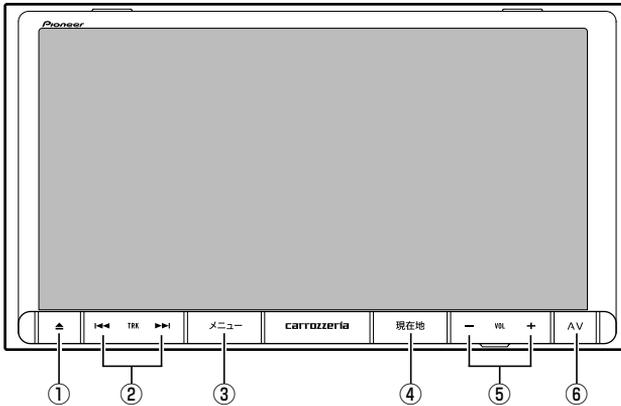
基本操作

### ■ナビゲーション

閉じている状態 (AVIC-RW303 II)

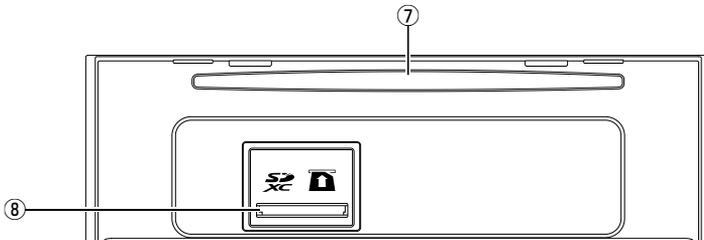


閉じている状態 (AVIC-RZ303 II)



開いている状態

イラストはAVIC-RZ303 IIです。



- ① **⏪ボタン(→P20,21,22)**  
ディスク、SDカードの出し入れや、モニターの角度調整を行うための操作画面を表示します。
- ② **⏮️⏭️ボタン**  
放送局の選択や再生する曲の選択をします。長く押しすと、曲の早戻しや早送りなどの操作となります。
- ③ **☒メニューボタン(→P26)**  
セントラルメニューを表示します。セントラルメニュー表示中は、NAVIメニューとAVメニューを切り換えます。長く押しすと画面の画質を調整します。
- ④ **📍現在地ボタン**  
ナビゲーションの現在地表示に切り換えます。長く押しすと画面を一時的に消し、待機状態にします(ナビスタンバイ)。
- ⑤ **🔊(音量調整)ボタン**  
車のスピーカーから出力されるAVソースの音量を調整できます。
- ⑥ **AVボタン**  
AVソース画面時は、セントラルメニューを表示します。(長く押しすとAVソースをOFFにしてセントラルメニューを表示します。)ナビゲーション画面時は、AVソースがOFFの場合はセントラルメニューを表示し、AVソースがONの場合はAVソース画面を表示します。
- ⑦ **ディスク挿入口(→P20)**  
DVDやCDなどを挿入します。
- ⑧ **SDカードスロット(→P21)**  
SDカードを挿入します。

### 指のケガに注意

- モニターを開閉するときは、指などを挟まれないようにご注意ください。特にお子様にはご注意ください。ケガの原因となることがあります。

### 注意

- 本機を使用していないときは、モニターを閉じた状態にしてください。
- モニターの角度調整や開閉を無理に行わないでください。モニターに強い力が加わると故障することがあります。
- モニターの角度調整や開閉をするときに、物を挟まないように注意してください。物が挟まってしまったときは、挟まった物を取り除いてから開閉操作をしてください。
- SDカードの出し入れの際、モニターを完全に開いた状態のままにしておく、と一定の間隔で音声警告が行われます。表示部保護のため、必要な場合以外モニターは閉じた状態でご使用ください。

### メモ

- ナビスタンバイ中の画面にタッチすると、元の画面に戻ります。
- ナビスタンバイ中は、ナビゲーションの音声案内も出力されません。
- ナビゲーションの案内音声および操作音の調整は、「ナビゲーションの音量を調整してみよう」(→P23)で行います。

## ナビゲーションの電源について

本機の電源は、車のエンジンスイッチをONにすると自動的に入り、エンジンスイッチをOFFにすると切れます。

### 注意

- 本機は、エンジンスイッチをOFF(本機の電源をOFF)にするとモニターが自動的に閉じます。ただし、モニターが完全に開いた状態でエンジンスイッチをOFF(本機の電源をOFF)にしても、自動的にモニターが閉じることはありません。故障ではありません。

### メモ

- ナビゲーションの電源スイッチはありません。

## テレビを見るための準備をしよう

本機をご購入後、はじめてテレビをご覧になるときは、受信可能なチャンネルを探して本機に登録する作業(チャンネルスキャン)が必要です。この準備が完了するまで、テレビはご覧になれません。

### 受信可能なチャンネルを本機に登録する (チャンネルスキャン)

#### メモ

- チャンネルスキャンは、テレビの電波を受信しやすい場所で行ってください。(地下駐車場などでは電波を受信しない場合があります。)
- 設定初期化したときにもチャンネルスキャンが必要です。

1 **メニュー** を押し、**AV** にタッチする

2 **DTV** にタッチする



3 **次ページ** **スキャン** に2秒以上  
タッチする



チャンネルスキャンを開始します。



チャンネルスキャンが終了すると、テレビの映像が表示されます。

## 自宅を登録しよう

あらかじめ自宅の場所を登録しておくことで、ドライブ先から自宅へ帰るときなどに、かんたんな操作でルートを探索できます。

1 **自宅** に車を停める

2 **メニュー** を押し、**自宅** にタッチする

3 **はい** にタッチする



自宅が登録されます。

#### メモ

- マイセットアップ(→P15)でも自宅の登録や変更ができます。
- 自宅の地点を探して**ここを登録する**にタッチし、**自宅登録**をタッチすることでも自宅の登録や変更ができます。
- 地図画面上で自車マーク▲が自宅の位置にあることを確認してください。ずれているときは、画面をスクロールして十字カーソルを自宅の位置に合わせてください。→P34の「地図を動かす」
- 登録後に**自宅**にタッチすると、自宅までのルート探索が始まります。

## お客様登録(無料)をしよう

本機の通信機能やバージョンアップなど、本機をより便利で快適にお使いいただくためには、あらかじめお客様登録をしていただくことをお勧めします。お客様登録の方法はインターネットを利用した方法と本機の通信機能を使った方法の2通りあります。

### メモ

- マイセットアップ(→P15)で「スマートループお試し登録」を行っていただいた場合は、お客様登録(無料)およびスマートループ設定の初期登録(→P50)をしなくてもスマートループ渋滞情報を期間限定で体験していただくことができます。体験期間終了後も引き続きスマートループ渋滞情報をご利用される場合や、本機の全機能をお使いになる場合は、お客様登録(無料)を行ってください。
- お客様登録は、バージョンアップやスマートループ機能と関係しています。本機を譲渡・転売する場合は、お客様ご自身で退会手続きを行ってください。
- お客様登録では、ご希望のニックネームとパスワードを登録します。登録した内容はメモに残して忘れないようにしてください。

## インターネットを利用して登録する

インターネットを利用して、自宅のパソコンなどからお客様登録およびスマートループ利用登録を行います。

### 1 下記URLにアクセスして、お客様登録とスマートループ利用登録の設定を行う

<https://www.smartloop.jp/smartloop/>

以上でお客様登録とスマートループ利用登録の設定は完了です。

### メモ

- ナビスタジオのランチャー画面(→P56)から、お客様登録ページを表示させることもできます。
- スマートループのご利用には、別途スマートループ設定が必要です。(→P50)

## 本機の通信機能を使って登録する

本機の通信機能を使用して、お客様登録とスマートループ利用登録を行います。

### メモ

- あらかじめ本機に別売のデータ通信専用通信モジュールを接続してください。

### 1 **メニュー**を押し、**Smart Loop**にタッチする

### メモ

- AVメニューが表示されているときは、**NAVI→**にタッチしてください。

### 2 **お客様メニュー**—**お客様登録**にタッチする

### 3 **新規登録**にタッチする

### 4 **約款**を読んでから**同意する**にタッチする

以降は、画面に従い必要な情報を順次入力します。

### メモ

- 電話番号登録では、「-(ハイフン)」の入力は不要です。

### 5 **終了**にタッチする

以上で、お客様登録は完了です。

### メモ

- お客様登録が完了すると、自動的にスマートループ利用登録も完了し、利用期間が無期限に設定されます。
- スマートループ利用登録期間は、必要に応じて変更してください。⇒「**ユーズガイド**」(ユーズガイドの閲覧方法については、本書のP11をご覧ください。)
- スマートループのご利用には、別途スマートループ設定が必要です。(→P50)

## ディスクの入れかた・取り出しかた

### ①注意

- 8 cm ディスクには対応しておりません。また、アダプターを装着した8 cm ディスクも絶対に使用しないでください。

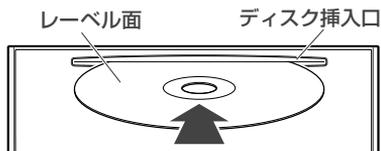
### ディスクの入れかた

- 1 **Ⓜ**を押す
- 2 **OPEN** にタッチする



モニターが開きます。

- 3 ディスク挿入口にディスクを差し込む



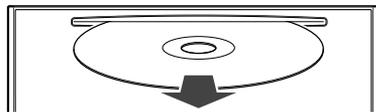
ディスクは途中まで差し込むと自動的に引き込まれ、モニターが閉じます。

### ディスクの取り出しかた

- 1 **Ⓜ**を押す
- 2 **ディスクイジェクト** にタッチする



モニターが開き、ディスクが自動的に押し出されます。



- 3 ディスクを取り出し、**Ⓜ**を押す

モニターが閉じます。

## SDカードの入れかた・取り外しかた

### ①注意

- SDカードの出し入れを無理に行くと、本機やSDカードが破損する恐れがあります。ご注意ください。
- SDカードスロットには、SDカード以外のものを挿入しないでください。コインなどの金属物を挿入した場合、内部回路が破損し故障の原因となります。
- 安全のため、走行中はSDカードの出し入れはしないでください。

### 📌メモ

- ナビスタジオ(→P55)をご利用になる場合は、ナビスタジオ専用として使用するSDカード(16GB以上)が必要です。また、本機をご購入後、はじめてSDカードを挿入すると、SDカード登録確認メッセージが表示されます。ナビスタジオ専用としてお使いになるSDカードの場合は**はし**にタッチしてください。それ以外の用途(例えば知人から一時的に借りたSDカードの場合など)の場合は**いいえ**にタッチしてください。詳しくは、「ナビスタジオを使ってみよう」(→P55)をご覧ください。
- 本機と組み合わせて使用しているときにSDカードのデータが消失しても、消失したデータの保障についてはご容赦ください。

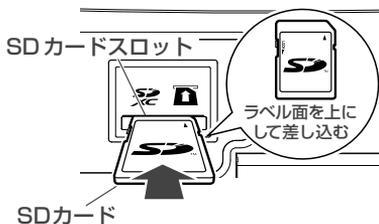
## SDカードの入れかた

- ④を押す
- SDカード挿入にタッチする



モニターが開きます。

- ③ “カチッ” と音がするまでSDカードを差し込む



- ④を押す

モニターが閉じます。

### ①注意

- SDカードが完全に挿入されていない状態で④を押さないでください。カードを破損させる恐れがあります(SDカードの挿入位置が正しくないまま④を押すと、モニターにメッセージが表示され、音声による案内が行われず).

## SDカードの取り外しかた

- ④を押す
- SDカード取り外しにタッチする



モニターが開きます。

### ①注意

- SDカードを取り外す場合は、必ずSDカード取り外しにタッチしてから行ってください。タッチせずに取り外すと、SDカード内のデータが破損する恐れがあります。

- ③ “カチッ” と音がするまでSDカードを押し込んで離す



SDカードが押し出されます。



#### 4 SDカードをまっすぐ引き抜き、を押す

モニターが閉じます。

##### ①注意

- SDカードは中央部をゆっくりと押して、まっすぐ取り出してください。
- 取り外したSDカードは、専用ケースに入れるなどして、保管してください。また、誤ってお子様が見込みなどのことがないように、保管場所にもご配慮ください。

## 画面を見やすく調整してみよう

### メモ

- 液晶画面は、その構造上きれいに見える角度が限られています。初めてお使いになるときは、画面がきれいに見えるように、見る角度を調整し、調整した角度に合わせて黒の濃さを調整してください。液晶画面自体の明るさや色温度なども変更できます。お好みに応じて調整してください。

### モニターの角度を調整する

#### 1 を押す

#### 2 またはにタッチする



タッチすることにより、モニターの角度が変わります。

### メモ

- 角度調整したモニターは、次にエンジンスイッチをON（本機の電源をON）にしたとき自動的に調整した角度になります。

### 画質を調整する

#### 1 を長く押す

#### 2 調整したい項目にタッチする



## 地図画面とAVソース画面を同時に表示してみよう

画面を2分割して、地図画面とAVソース画面を同時に表示させることができます。

### 1 現在地画面で、**ビュー**にタッチする



### 2 AVサイドビューにタッチする



2画面表示に切り替わります。



## ナビゲーションの音量を調整してみよう

- 1 **メニュー**を押し、**設定・編集**にタッチする
- 2 **案内音量設定**にタッチする
- 3 調整したい項目の**+**/**-**または**ON/OFF**にタッチする



### メモ

- マイセットアップ(→P15)でも調整できます。
- 操作音は、それぞれの調整した音量と同じ大きさで鳴ります。
- 調整・補正メニュー(→P30)の「音量/消音設定」では、より詳しい設定ができます。
- オーディオの音量調整については、P17をご覧ください。

### 注意

- 操作音をOFFに設定すると、警告音も鳴らなくなりますのでご注意ください。

# カスタムキーの操作を覚えよう

普段よく使う機能を、画面下部に表示される**カスタム**に登録できます。工場出荷時は「地点を登録する」です。

## メモ

- 以下の機能は、地図画面またはAVソース画面のどちらでも動作します。
  - 周辺施設を探す
  - よく行くランキングから探す
  - 自宅へ帰る
  - 周辺充電スポットを探す (EVモードONの場合)
  - アイドリングアッテネーター設定ON/OFFする
  - アッテネーターをON/OFFする
  - 全画面に時計を表示する
- その他の機能は、地図画面でのみ動作します。

基本操作

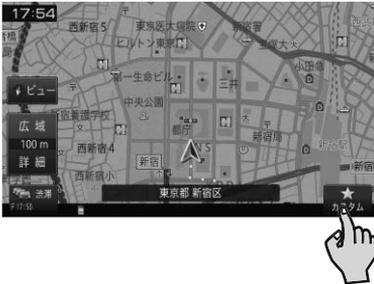
## カスタム機能を設定する

- 1 **メニュー** を押し、**設定・編集** - **システム設定** - **カスタム設定** にタッチする
- 2 登録したい機能を選ぶ



## カスタム機能を使う

- 1 現在地画面で、**カスタム** にタッチする



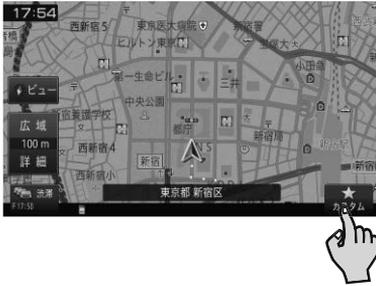
登録した機能 (例: ログマークをON/OFFする) が動作します。



## 現在地を登録してみよう

旅先など景色がきれいで覚えておきたい場所を登録しておく、目的地を設定する際などに利用できます。

- 1 登録したい場所に車を停める
- 2 現在地画面で、**カスタム**にタッチする



▼  
場所が登録されます。

### メモ

- 現在地の住所付近の名称で登録されます。
- カスタムキーに「地点を登録する」を設定してください。（工場出荷時の設定は「地点を登録する」です。）
- カスタムキーに他の機能が設定されていると、手順2の操作では登録できません。

## 登録した場所を編集してみよう

以下の情報を編集することができます。

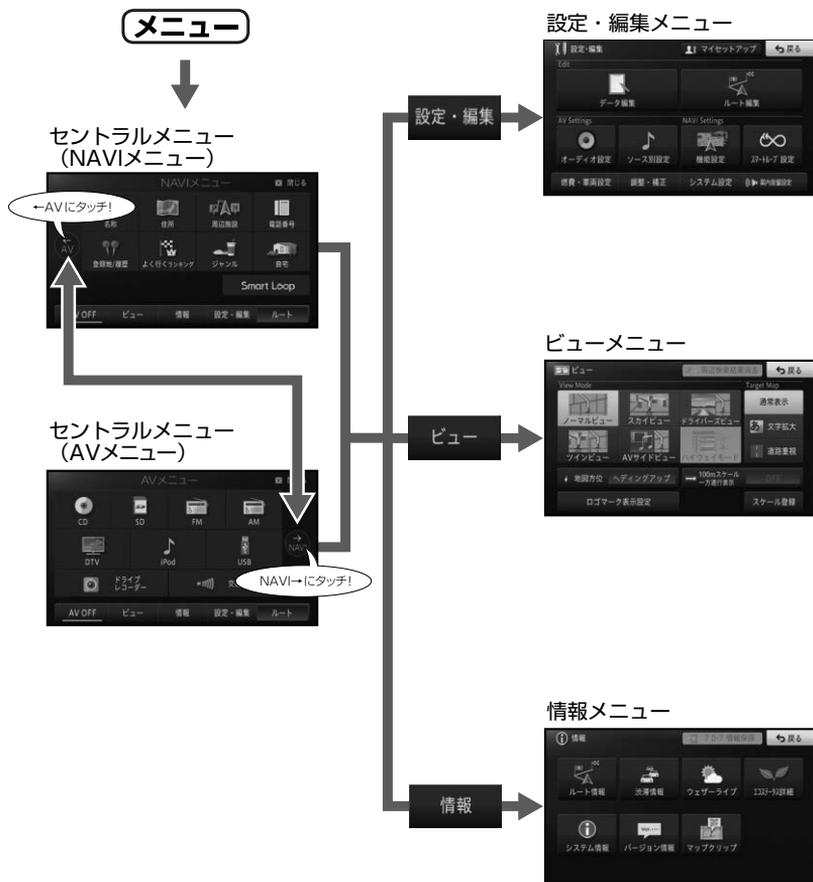
詳しくは、ユーザーズガイド「登録した場所の編集」を参照してください。（ユーザーズガイドの閲覧方法は、本書のP11をご覧ください。）

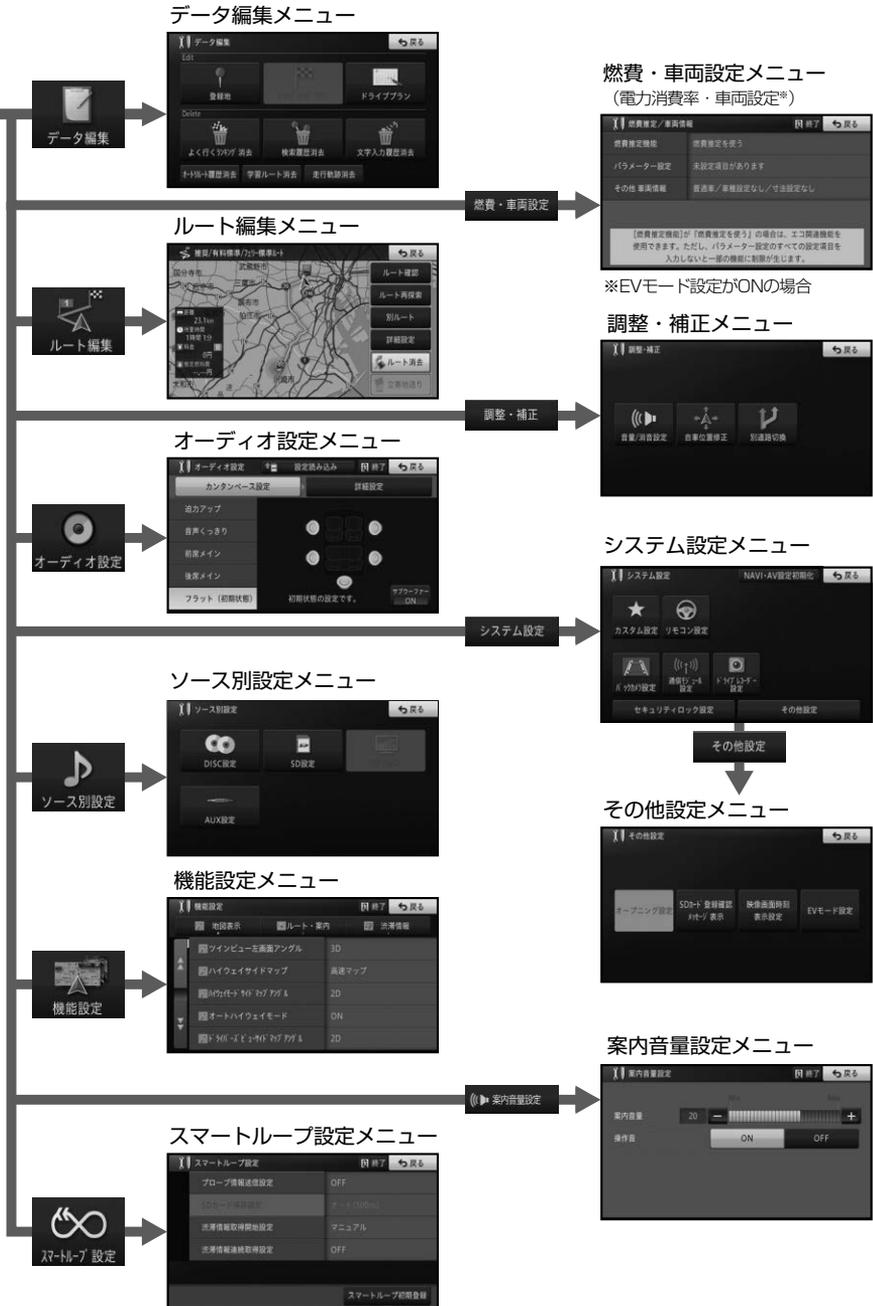
- ・名前
- ・方向指定
- ・ヨミ
- ・グループ
- ・電話番号
- ・位置修正
- ・2Dマーク
- ・効果音
- ・3Dマーク

# メニューの操作を覚えよう

本機では、用途に応じていろいろなメニュー画面が表示されます。  
それぞれの使いかたを覚えておくと便利です。

基本操作





## セントラルメニュー

セントラルメニューには、いろいろな機能が集められています。



<b>NAVI</b> →	行き先を探してルートを探したり、場所を探して詳細情報の表示や登録などができます。
← <b>AV</b>	CDやDVD、TVなどのオーディオ機能が利用できます。
<b>AV OFF</b>	オーディオ機能の利用を中止することができます。
<b>ビュー</b>	地図の表示方法変更や強調させたい情報の設定、地図の向きや各種表示に関する設定ができます。
<b>情報</b>	ルート情報や渋滞情報、バージョン情報など各種情報を確認・利用できます。
<b>設定・編集</b>	各種データやルートの編集、オーディオ関連の設定やナビゲーション関連の設定などができます。
<b>ルート</b> * <sup>※</sup>	ルート再探索や別ルートの探索、ルート消去などルートに関する操作ができます。

※：案内中ルートがある場合

## NAVIメニュー

NAVIメニューには、場所を探すメニューが集められています。



<b>名称</b>	行き先のヨミ仮名を入力して検索します。ジャンルやエリアを指定して、絞り込みます。
<b>住所</b>	行き先の住所を入力して検索します。
<b>周辺施設</b>	自車の位置または地図をスクロールさせた位置やルート周辺から特定の施設を検索します。
<b>電話番号</b>	行き先の電話番号を入力して検索します。

<b>登録地/履歴</b> * <sup>1</sup>	登録した場所や今までに検索した場所の履歴から検索します。検索履歴の場合、日付順や自車位置またはスクロール地点に近い順、ヨミ順などで絞り込みます。
<b>よく行くランキング</b> * <sup>2</sup>	よく行く行き先のランキングを表示します。
<b>ジャンル</b>	行き先のジャンルを選んで検索します。
<b>自宅</b>	自車位置やスクロール地点、検索結果地点などを、自宅として登録できます。登録済みの場合は自宅へのルート探索ができます。
<b>Smart Loop</b> * <sup>3</sup>	スマートルーポータルサイトに接続し、駐車場満空情報・ガススタ価格情報・TV紹介スポット、お出かけフォルダー、お知らせなどを利用することができます。また、お客様登録などを行うこともできます。EVモード設定がONの場合は、充電スポット満空情報を利用することができます。

\*1：登録地点や検索履歴がある場合

\*2：ランキング情報がある場合

\*3：通信接続可能な状態にある場合

## AVメニュー

AVメニューには、オーディオに関するメニューが集められています。



<b>DISC (CD/ROM/DVD)</b>	音楽CD、楽曲や映像を記録したCD-R/RW/DVD-R/RW、DVD-VideoやDVD-VRを再生できます。挿入されたディスクの種類に応じて、AVソースのアイコンが変わります。
<b>SD</b> * <sup>1</sup>	SDカードに保存した音楽ファイルや映像ファイルを再生できます。
<b>FM/AM</b>	ラジオが聞けます。
<b>DTV</b>	テレビが見られます。
<b>iPod</b> * <sup>2</sup>	接続したiPodの音楽ファイルや映像ファイルを再生できます。別売のUSB接続ケーブル「CD-U120」または「CD-U420」とiPod用USB変換ケーブル「CD-IUV51M」が必要です。
<b>USB</b> * <sup>3</sup>	USBメモリーに保存した音楽ファイルを再生できます。

<b>AUX</b> ※4	接続したビデオカメラなどの外部機器の映像と音声を再生できます。
<b>ドライブレコーダー</b> ※5	接続したドライブレコーダーの映像を表示したり、録画した動画を再生したりできます。
<b>交通情報</b>	幹線道路などで放送されているAMの交通情報が聞けます。

- ※1：SDカードが挿入されている場合  
 ※2：iPodが接続されている場合  
 ※3：USBが接続されている場合  
 ※4：ソース別設定(→P46)でAUX設定の入力設定をONにした場合  
 ※5：ドライブレコーダー設定(→P53)をONにした場合

## ■ビューメニュー

ビューメニューには、地図の表示に関するメニューがまとめられています。



<b>ノーマルビュー</b>	平面で表示できます。
<b>スカイビュー</b>	上空から見ているように表示できます。
<b>ドライバーズビュー</b>	ドライバーの目線で見ているように表示できます。
<b>ツインビュー</b>	左右に2分割して異なる方法で表示できます。
<b>AVサイドビュー</b>	地図画面とAV画面を同時に表示できます。
<b>ハイウェイモード</b> ※	有料道路専用画面で表示できます。
<b>通常表示</b>	工場出荷時の状態(情報)で表示できます。
<b>文字拡大</b>	地図上の文字情報のみを拡大表示できます。
<b>道路重視</b>	地図上の道路情報のみを強調表示できます。
<b>地図方位</b>	地図の向きが、車の進行方向を常に上(ヘディングアップ)とするか、北を常に上(ノースアップ)とするか設定できます。
<b>100mスケール一方通行表示</b>	100 mスケールで地図を表示しているときに、地図上に一方通行のマークを表示するかしないか設定できます。
<b>ロゴマーク表示設定</b>	施設のロゴマーク(ガソリンスタンドやコンビニエンスストアなど)を表示するかしないか設定できます。

<b>スケール登録</b>	現在の地図スケールを登録することができます。
<b>周辺検索結果消去</b>	周辺検索を行った際、検索結果として地図上に表示される施設のロゴマークを消去できます。

※：有料道路走行中の場合

## ■情報メニュー

情報メニューには、ルートや渋滞、エコステータス、システムなどのメニューが集められています。



<b>プローブ情報保存</b>	蓄積型プローブ情報をSDカードに保存できます。
<b>ルート情報</b> ※1	ルートの確認や消去、詳細設定などができます。
<b>渋滞情報</b>	文字や図形のVICS情報を確認できます。また、通信を利用した渋滞情報(オンデマンドVICS/スマートループ)が取得できます。
<b>ウェザライブ</b>	通信可能な状態であれば、気象情報の取得や表示ができます。
<b>エコステータス詳細</b>	エコステータスの内容をグラフや指数などで、詳しく確認できます。
<b>システム情報</b>	センサー学習の状況や各機器の取付け状態、SDカードの空き領域の情報を確認できます。
<b>バージョン情報</b>	収録データのバージョンを確認できます。
<b>マップクリップ</b>	表示中の地図情報を2次元バーコードに変換できます。
<b>ETC利用履歴</b> ※2	ETCカードに記録された利用履歴を確認できます。

※1：案内中ルートがある場合

※2：ETCユニットが接続されていて、ETCカードが挿入されている場合

## ☑メモ

- 「プローブ情報」とは、以下のデータの総称です。
  - 蓄積型プローブ  
SDカードとパソコン経由で専用サーバーへ送信される、本機に蓄積されたオートパーキングメモリーや走行履歴などのナビゲーションに関する情報など
  - リアルタイムプローブ  
本機に接続された通信機器を使って、専用サーバーへ送受信される現在の走行履歴データ

## ■設定・編集メニュー

設定・編集メニューには、設定または編集に関するメニューがまとめられています。



<b>マイセットアップ</b>	マイセットアップができます。
<b>データ編集</b>	登録地や駐車履歴データ、ドライブプランの編集ができます。また、よく行くランキングや検索履歴、文字入力履歴、オートルート履歴、学習ルート、走行軌跡、オービスデータの消去ができます。
<b>ルート編集</b> ※1	ルートの確認や消去、詳細設定などができます。
<b>オーディオ設定</b> ※2	オーディオの音質を調整できます。
<b>ソース別設定</b>	DTVやSDなど、各オーディオ機能特有の設定ができます。
<b>機能設定</b>	地図表示やルート、渋滞情報などナビゲーションに関する設定ができます。
<b>スマートループ設定</b>	スマートループを利用するための初期登録や各種設定などができます。
<b>燃費・車両設定</b> (電力消費率・車両設定※3)	燃費推定機能の使用有無やパラメータ(燃料単価や排気量など)の設定、車両情報の入力ができます。
<b>調整・補正</b>	ナビゲーションの案内音量の調整と操作音のON/OFF、消音タイミングと消音レベルの設定、ガイド音声出力時のスピーカー選択などができます。また、自車位置がずれた場合の修正や、走行している道路の認識が間違った場合の切り換えもできます。
<b>システム設定</b>	カスタム設定、セキュリティロックの設定、各種オプション品(バックカメラ、通信モジュール、ETC2.0ユニット/ETCユニット、ドライブレコーダー)の設定などができます。
<b>案内音量設定</b>	ナビゲーションの案内音量の調整と操作音のON/OFFを設定できます。

※1: 案内中ルートがある場合

※2: AV機能利用中の場合

※3: EVモード設定がONの場合

## ショートカットメニューの操作

場所を探した際に、利用頻度の高い機能(ルート探索や場所の登録など)がショートカットメニューとして表示されます。

- 1 地図をスクロールするか場所を探す
- 2 実行したい機能を選んでタッチする



<b>周辺施設を探す</b>	探した場所の周辺の施設を検索することができます。
<b>マップクリップ</b>	表示中の地図情報を2次元バーコードに変換できます。
<b>ここを登録する</b>	探した場所を登録できます。
<b>ここへ行く</b>	探した場所までのルート探索ができます。
<b>ショートカットメニュー</b>	ショートカットメニューを表示・非表示することができます。

▼  
選んだショートカットメニューが実行されます。

### メモ

- 検索機能を使って表示させたショートカットメニューを解除するときは、**戻る**にタッチします。地図をスクロールして表示させたショートカットメニューを解除するときは、**現在地**を押します。

## リスト画面の操作を覚えよう

機能に応じていろいろなリスト画面が表示されます。それぞれの使いかたを覚えておくと便利です。

### 基本的なリストの操作

**タブ**  
それぞれのタブに分類されたリストの先頭行を表示します。



**リスト項目**  
目的の項目を選んでタッチします。

**リストバー**  
リスト項目量の目安とリストの現在位置を示します。

**ページ送りタッチキー**  
タッチするとリストをページ送りします。

### その他のリスト操作

#### ■ 50音タブ付きリストの操作

サイドマップなし



**50音タブ**  
選んだタブの先頭からリスト表示します。  
同じタブに繰り返しタッチすると、音送りでリスト表示します。  
(あ→い→う→え→お)

#### サイドマップあり

##### タブ送り

サイドマップが表示されている場合は、50音タブが省略表示されます。タッチするごとに隠れている50音タブを表示します。



##### 選択中の項目

選択中の項目は、リストの色が変わります。  
検索結果のリストなどでは、あらかじめリスト最上段の項目が選択状態となります。

#### ■ ポップアップメニューの操作



**ポップアップメニュー**  
選んだ項目に選択肢がある場合に表示されます。

#### ■ 並べ替えの操作



##### 並べ替え

タッチするごとに、ヨミ順や近い順などのようにリスト表示を並べ替えます。  
並べ替えの種類は、表示している画面によって異なります。

## ■チェックタイプリストの操作



基本操作

### チェックマーク

タッチするとチェックマークが表示され、選択中であることを示します。もう一度タッチするとチェックマークが消え、選択が解除されます。

## ■インジケータ付きリストの操作



### インジケータ

タッチするとインジケータが点灯し、選択中であることを示します。もう一度タッチするとインジケータが消灯し、選択が解除されます。

# 地図の見かたや操作を覚えよう

## 現在地画面の見かた

**現在の時刻** 17:54

**方位表示** 赤い三角が北方向を示します。

**スケール表示** 下の「100m」がスケールの距離を示します(2D表示のみ)。

**情報ウィンドウ表示** 情報ウィンドウ表示の内容は、機能設定(→P30)で市区町村名、走行道路名、緯度経度、AV情報、エコステータスの5種類に切り換えができます。VICS WIDE 緊急情報を受信した時は切り換えることはできません。

**自車マーク** 車の位置と進行方向を表します。

**軌跡表示**

**各種アイコン表示**

**渋滞情報提供時刻表示** (→P41)

ナビゲーション

### 昼間と夜間の色の違いについて

夜間、周囲が暗くなってくると、画面が明るすぎで表示されている映像が見えにくくなることがあります。そこで、本機では昼画面と夜画面とで画面の配色を変えて、それぞれ見やすい画面を表示します。例えば日没の時刻になると自動的に夜画面に変わるように設定できます。昼画面と夜画面の切り換えを車のスモール灯のON/OFFと連動させたり、常に昼画面を表示させておくこともできます。本書では、昼画面を例に説明しています。

### 画面下部に表示されるアイコンについて

本機の設定や機器の接続状況に応じて、各種アイコンが表示されます。

アイコン例	表示条件
	サイレントガイドでルート案内中に表示されます。
	本機に挿入されたSDカードを認識すると表示されます。
	ナビゲーションに蓄積されたプローブ情報をSDカードへ保存しているときに表示されます。

	地図データ等の更新時に表示されます。更新中は、進捗状況が%で表示されます。更新マークが表示されているときは、SDカードを抜かないでください。
	ナビゲーションに蓄積されているプローブ情報が保存サイズ上限に近づくと表示されます。マークが表示された場合は、プローブ情報をSDカードに保存し、ナビスタジオを使用してサーバーにアップロードしてください。
	ナビゲーションに蓄積されているプローブ情報が保存サイズ上限に達すると表示されます。マークが表示された場合は、プローブ情報をSDカードに保存し、ナビスタジオを使用してサーバーにアップロードしてください。マークが表示された状態のまま本機をお使いいただくこともできますが、蓄積されたプローブ情報は古いものから順に消去され、新しいプローブ情報が蓄積されます。

	<p>ウェザーライブによる天気予報（気象情報や予想気温、降水確率）を取得している場合に 표시됩니다。また、取得した天気予報の予報時刻を表示します。ルート設定時は目的地付近、ルート設定がない時は現在地付近の予報を表示します。（予報の右の自車マークが現在地付近を示します。目的地付近の場合はチェッカーフラッグとなります。）</p>
	<p>接続した別売のETCユニットやETC2.0ユニットにETCカードが挿入されると表示されます。ETCカードの有効期限が切れている場合は、アイコンの上に赤い斜線が表示されます。</p>
	<p>音声案内をOFFにすると表示されます。</p>
	<p>通信機能が利用可能な状態の場合、スマートループポータルサイト（→P28）のお知らせに、メッセージが届くと表示されます。最も重要なメッセージが未読の場合は赤、その他のメッセージが未読の場合は白のアイコンが表示されます。メッセージ取得から30日経過した場合や、メッセージがすべて既読状態になると、アイコンは消えます。</p>
	<p>データ通信専用モジュールが回線接続されている場合に表示されます。</p>

#### メモ

- 同種のアイコンなどは、一度に1種類しか表示されないものもあります。

## 地図を動かす

地図上の見たい場所にタッチするか、見たい場所の方向にタッチすると地図が動きます。この動作をスクロールといいます。

### 1 地図上の見たい場所にタッチする



#### スクロール方面表示

地図のスケールが、10 m ~ 1 km スケールのときに表示されます。



十字カーソルが表示され、タッチした場所が中心となるように地図が動きます。

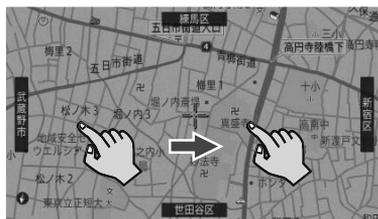
地図上ではフリック／ドラッグ操作ができます。

#### フリック操作



画面を指で払うようにすると、指を払った方向に地図が移動します。（フリックスクロール）

#### ドラッグ操作



画面にタッチしたまま指を動かすと、指の動きに従って地図が動きます。（ドラッグスクロール）

## メモ

- ノーマルビューの場合は**微調整**が表示されます。
- タッチし続けると、その方面にスクロールします。また、画面中央のカーソルから離れた場所にタッチするほど、スクロール速度が速くなります。
- 走行中にスクロール操作をすると、タッチしたところまでスクロールして停止します。

## 2 微調整にタッチする

### 現在地の方向

十字カーソル位置と現在地を結んだ線。



十字カーソル位置の地名  
十字カーソル位置周辺の地名  
を示します。

現在地から十字カーソル  
位置までの直線距離

## 3 表示を微調整する

矢印にタッチすることにより、地図が少しずつ動きます。また、画面の任意の位置をタッチしても地図が動きます。



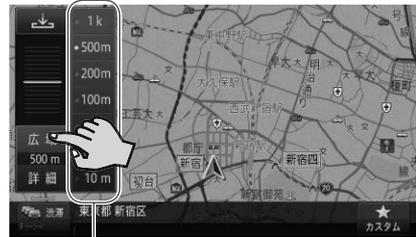
## メモ

- もう一度**微調整**にタッチすると、8方向の矢印が消えます。
- 走行中は微調整の操作はできません。
- **現在地**を押すと、現在地周辺の地図に戻ります。

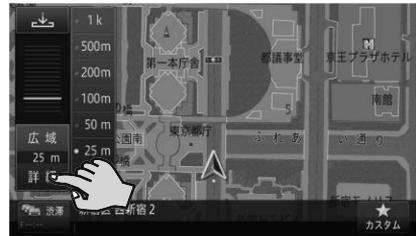
## 地図のスケールを変える

10 m ~ 500 kmの範囲で地図のスケールを変更できます。

## 1 現在地画面で、**広域**または**詳細**にタッチする



ダイレクト  
スケールキー



<b>広域</b>	地図をより広く見たいとき
<b>詳細</b>	地図をより詳しく見たいとき

ダイレクトスケールキーから直接スケールを選ぶこともできます。

## メモ

- **←**にタッチすると、元の画面に戻ります。
- 停車中のみ、**広域** **詳細**にタッチし続けることで、スケールを段階的に変えることができます（フリーズム）。

## 地図の向きを変える

ノーマルビューでの地図の向きを変更できません。地図の向きに関して詳しくは、P29の「ビューメニュー」をご覧ください。

### 1 現在地画面で、**ビュー**にタッチする



ナビゲーション

### 2 **地図方位**にタッチする



ヘディングアップまたはノースアップに切り換わります。

## 地図の表示方法を変える

地図の表示方法（ビューモード）や強調させたい地図の情報（ターゲットマップ）を、お好みに合わせて変更できます。ビューモードやターゲットマップに関して詳しくは、P29の「ビューメニュー」をご覧ください。

### 1 現在地画面で、**ビュー**にタッチする



### 2 表示方法を選んでタッチする



選んだビューモードやターゲットマップで表示されます。

## 目的地を探してルート案内してみよう

NAVIメニューで目的地を探してルート案内してみましょ。

本書では例として「ジャンル」から「成田国際空港」を探して目的地とする方法を説明します。その他の検索方法について、詳しくは「ユーザーズガイド」をご覧ください。(ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書のP11をご覧ください。)

### 1 メニューを押し、ジャンルにタッチする

#### メモ

- AVメニューが表示されているときは、NAVI→にタッチしてください。

### 2 車・交通にタッチする



### 3 ↓ その他 車・交通にタッチする



### 4 空港—都道府県を指定して探すにタッチする



#### メモ

- ▲付近で探すにタッチすると、現在地付近の空港を探します。

### 5 た—千葉県にタッチする



### 6 千葉県すべてにタッチする

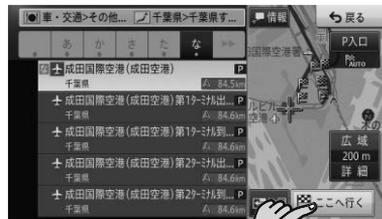


検索の結果、該当する施設がリストで表示されます。

#### メモ

- 目的の施設がある市区町村までわかっている場合は指定してください。検索結果を絞り込めます。

### 7 ここへ行くにタッチする



#### メモ

- 目的の施設が選択されていないときは、リストから選んでここへ行くにタッチします。
- もう一度成田国際空港 (成田空港) にタッチするか、地図にタッチすると、画面全体が地図画面に切り換わります。選んだ施設にはカーソルが表示され、施設名称が画面下部に表示されます(アクティブインフォ)。
- 情報にタッチすると、選んだ施設の詳細情報を確認できます。
- 詳細情報に施設の候補が複数ある場合は、前の施設や次の施設にタッチして詳細情報の切り換えができます。

## 8 案内開始にタッチするか、走行を開始する



目的地までのルートが設定されると、設定ルートは明るい緑色で表示されます(細街路はピンク色、有料道路は明るい青色で表示されます)。



### ①注意

- 安全のため、運転者は走行中に操作しないでください。
- 実際の道路標識に従って走行してください。
- 探索されたルートは道路種別や交通規制などを考慮して、本機が求めた目的地に至る道順の一例です。最適になるとは限りません。
- 渋滞考慮ルート、有料道回避、フェリー航路回避などでは、他の適切なルートがない場合は回避されないことがあります。
- 推奨できるルートが6本に満たない場合、何本かが同じルートになることがあります。
- 場所によりルート探索できないことがあります。

### メモ

- 目的地付近に到着すると、ルート案内は自動的に終了します。

## ルート案内中画面の見かた

### 到着予想時刻表示

目的地または立寄り地までの進捗度が表示されます。タッチすると、表示内容が切り換わります。

- ① : 目的地の到着予想時刻と残りの距離
- ② : 立寄り地の到着予想時刻と残りの距離 (立寄り地を指定した場合)
- ③ : 出発時刻と経過時間

### ルートインフォメーション

2つ先までの案内地点の距離、進行方向、次の案内地点の名称が表示されます。矢印(例: )にタッチすること、最大5つ先までの案内地の音声案内と地図表示を順に行います。(→P40)



### レーン案内表示

レーンごとの進行方向が表示されます。誘導レーンは緑色(推奨レーンは黒矢印)で表示されます。

### 方面看板表示

### 目的地の方向

現在地と目的地を結ぶピンク色の直線で表示されます。到着予想時刻表示を②にしている場合は、現在地と立寄り地を結ぶ直線となります。

### ルート

設定したルートは、一般道は明るい緑色(細街路はピンク色、有料道路は明るい青色)で表示されます。

交差点を通過すると現在地画面に戻ります。

### 現在地画面



### 交差点案内表示画面

交差点に近づくとき交差点案内画面に変わります。

### ドライバースビュー (工場出荷時の設定)



### サイドマップ

機能設定(→P30)の「ドライバースビューサイドマップアングル」で、2Dまたは3Dを選択できます。

### メモ

- 交差点案内表示は、機能設定(→P30)で「ドライバースビュー」「拡大図」「アローガイド」の3種類から選べます。

## ルート案内中の主な機能

### ■サイレントガイドについて

サイレントガイドとは、ルート案内中の音声案内と地図上の案内表示を最小限にして、目的地までのルート案内を行う機能です。

自宅周辺など道がよくわかっていて近隣の走行など案内割り込みが不要な場合や、ルートはわかっているが目的地や立寄地の到着（通過）予想時刻が知りたい場合などに便利です。

機能設定（→P30）の「オートサイレントガイド」をONに設定すると、自動的にサイレントガイドでルート案内を開始します。

#### メモ

- 到着予想時刻は、目的地または立寄地で切り換えができます。
- サイレントガイドの地図画面は、2Dか3Dを選べます。
- サイレントガイド中でも、別ルートへの案内（ルートアドバイザー）やオートリルート、駐車場マップやビーコン割り込み情報（別売のETC2.0ユニット接続時）の表示は行われます。
- サイレントガイド中にルートインフォメーションの矢印にタッチすると、次の案内地点が音声と画面表示で案内されます。（リクエスト案内）
- **カスタム**のカスタムダイレクトボタンに「サイレントガイドをON/OFFする」を登録して切り換えることもできます。（→P24）

### ■オートリルートについて

案内中のルートから外れた場合、自動的にルートを再探索します（オートリルート）。



#### メモ

- ドライバーが意図的にルートを外れたのか、道を間違えたのかを内部で判断し、全ルート再探索または復帰ルート再探索を行います（インテリジェントリルート）。

## ■ルートアドバイザーについて

新しいルートが見つかった、「新しい候補ルートが見つかりました」または「渋滞考慮オートリルートを行いました」と音声案内が流れ、新しいルートを表示します（ルートアドバイザー）。



新ルート	新ルートで案内します。
元ルート	元ルートで案内します。

## ルート案内中の主な操作

### ■次の案内地を確認する（リクエスト案内）

ルートインフォメーションにタッチすると、次の案内地を音声案内と地図表示で案内します。

#### 1 現在地画面でルートインフォメーションの矢印にタッチする



#### メモ

- 本操作を繰り返すごとに、最大5カ所先の案内地まで順に表示できます。
- 交差点案内表示をアローガイドに設定している場合は、次の案内地点部分にタッチしても確認できます。
- 画面の表示状態によって、タッチ操作の回数が増える場合があります。

## ■ルート上の渋滞情報を案内させる

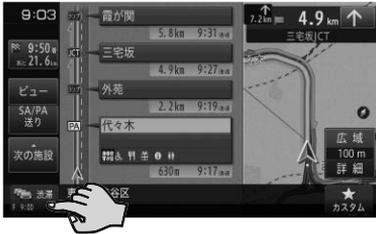
ルート上に発生したVICISの渋滞・規制情報は自動的に音声で案内されます(渋滞オートガイド)。

### メモ

- VICIS情報が取得できないときなどは動作しないことがあります。
- 音声では、“およそ3 km 先、1 km の渋滞が発生しています。通過に5分ほどかかります。”などと案内されます。

手動操作でもルート上の渋滞情報を確認できます(渋滞チェック)。

## 1 現在地画面で、渋滞にタッチする



渋滞箇所までの距離や渋滞の長さ、通過所要時間などの渋滞状況が文字表示と音声で案内されます。



### メモ

- 本操作を繰り返すごとに、5カ所先の渋滞状況まで順に案内できます。
- 案内中のルートがない場合は、自転車周辺の規制情報のみを表示・案内します。
- 本機が専用サーバーに接続可能な状態にあるときは、渋滞に長くタッチすると、オンデマンドVICISやスマートループ渋滞情報を取得することができます。\* (→P52)  
※ 別途、登録や設定が必要です。

## ■ルートを消去する

案内中のルートが不要になったときは、ルートを消去してルート案内を中止できます。

## 1 (メニュー) を押し、ルート - 消去にタッチする

ルート消去確認メッセージが表示されます。消去する場合は「はい」にタッチしてください。「いいえ」にタッチすると消去を中止してルート案内を続行します。

### メモ

- 情報メニュー (→P29) のルート情報、または設定・編集メニュー (→P30) のルート編集から操作することもできます。
- 消去したルートは復活できません。

# ナビゲーションの機能設定を試みよう

用途や好みに応じて設定を変更すると、ナビゲーションが使いやすくなります。

## 1 **メニュー**を押し、**設定・編集**機能設定にタッチする



### 機能設定の設定項目一覧

設定項目	工場出荷時
<b>ツインビュー左画面アングル</b> ツインビュー表示時の左画面のアングルを設定します。	3D
<b>ハイウェイサイドマップ</b> ハイウェイモードで都市高速を走行するときのサイドマップを設定します。	高速マップ
<b>ハイウェイモードサイドマップアングル</b> ハイウェイモードのサイドマップのアングルを設定します。	2D
<b>オートハイウェイモード</b> 有料道路走行時にビューモードを自動的にハイウェイモードに切り換えるか設定します。	ON
<b>ドライバズビューサイドマップアングル</b> ドライバズビューのサイドマップのアングルを設定します。	2D
<b>AVサイドビューアングル</b> AVサイドビューのサイドマップのアングルを設定します。	2D
<b>サイレントガイドアングル</b> サイレントガイドのアングルを設定します。	2D
<b>シティマップ</b> シティマップ対象エリア内で50 m以下のスケールで表示した場合、シティマップを表示するかを設定します。	ON
<b>スカイシティマップ</b> シティマップをスカイビューで表示した場合に建物などを立体的に表示するかを設定します。	ON
<b>シティマップ境界表示</b> シティマップ対象エリアから外れるときに境界線を表示するかを設定します。	OFF
<b>地図色切換</b> 地図色が切り換わるタイミングを設定します。	時刻連動
<b>走行軌跡表示</b> 走行軌跡を地図上に表示するかを設定します。	ON
<b>走行軌跡自動消去</b> 走行軌跡を消去するタイミングを設定します。	OFF
<b>ロゴマーク表示スケール</b> ロゴマークや周辺検索の結果を表示するスケールを設定します。	1 km スケール以下
<b>登録地マーク簡易表示</b> 登録地マークを簡易的に表示するスケールを設定します。	簡易表示しない
<b>ボトルネック踏切マーク表示</b> ボトルネック踏切マークを地図上に表示するか設定します。	ON
<b>一時停止表示</b> 一時停止マークを地図上に表示するか設定します。また、効果音による通知も設定します。	ON (音あり)
<b>冠水注意地点マーク表示</b> 冠水注意地点マークを地図上に表示するかを設定します。	ON

地図表示

地図表示	ゾーン30エリア表示 ゾーン30エリアを地図上に表示するかを設定します。	OFF
	拡張事象規制エリア表示 拡張事象規制エリアを地図上に表示するかを設定します。	ON
	2D(ノーマルビュー)固定スクロール スクロール画面をノーマルビューに固定するかを設定します。	OFF
	情報ウィンドウ表示 地図画面に表示する情報ウィンドウの内容を設定します。	市区町村名
	オービスポイント オービスポイントを表示して注意音を鳴らす条件を設定します。 (別売のオービスデータを読み込ませたときに表示され、選択できます。)	全ポイント
ルート・案内	ルート探索基準 ルート探索の基準をあらかじめ設定できます。	推奨
	有料道路使用条件 ルート探索時に、有料道の利用基準をあらかじめ設定できます。	標準
	フェリー航路使用条件 ルート探索時に、フェリー航路の利用基準をあらかじめ設定できます。	標準
	学習ルート探索 学習したルートを検討してルート探索するかを設定できます。	ON
	渋滞考慮ルート探索 渋滞情報を取得済みの場合は、その情報を考慮してルートを探索できます。	渋滞情報・天気 考慮渋滞予測
	時間規制考慮ルート探索 日付や時刻による通行規制を考慮してルート探索するかを設定できます。	ON
	スマートIC考慮ルート探索 スマートICを乗降ICの対象としてルート探索するかを設定できます。 ルート案内中は設定できません。	OFF
	ルートアドバイザー 新しい候補ルートを提供する場合、どの情報を考慮するかを設定します。	すべて考慮
	ルートアドバイザー自動決定ルート ルートアドバイザーによる新ルートと元ルートの選択画面でタッチ操作が行われない場合に選択する、規定のルート候補を設定できます。	元ルート
	到着予想時刻表示 ルート案内時に表示する情報を設定します。	目的地(到着時刻・残距離)
	到着予想時刻速度(一般道) 渋滞考慮ルート探索設定で「考慮しない」にした際、一般道走行時での到着予想時刻を計算する基準速度を設定します。	30 km/h
	到着予想時刻速度(有料道) 渋滞考慮ルート探索設定で「考慮しない」にした際、有料道走行時での到着予想時刻を計算する基準速度を設定します。	80 km/h
	交差点案内表示 一般道のルート案内時に、交差点などの案内地点に近づいたときに表示される案内図の種類を選択します。	ドライバースビュー
	方面案内表示 一般道走行時に方面案内看板を表示するかを設定します。	ON
	ETCレーン案内表示 有料道走行時にETCレーン案内を表示するかを設定します。	ON
	料金案内 ルート案内中に通行にかかった、またはかかる有料道路の料金を音声で案内するかを設定します。	ON
	オートフリーズーム オートフリーズーム(現在地と直近の案内地との距離に合わせて地図スケールを自動的に変更する機能)のスケール範囲の設定をします。	OFF
	オートアングルチェンジ 案内地点でのドライバースビューの視点変更を行うかを設定します。	ON
	リクエスト案内 リクエスト案内時の案内方法を設定します。	音声案内・ 地図表示

ルート・案内	信号機ジャスト案内 信号機を目印にした音声案内を行うかを設定します。	ON	
	一般道シンプルガイド 通常の音声案内よりも回数と内容を少なくして、一般道のルート案内を行うかを設定します。	OFF	
	オートサイレントガイド ルート案内の開始時に、自動的にサイレントガイドで案内を行うかを設定します。	OFF	
	AV画面への割り込み AV画面を表示中に割り込み表示させる内容(交差点案内表示、ビーコン情報(ITSスポットの5.8 GHz VICS情報)、ルートアドバイザーの情報)を設定します。	すべてON	
	有料道注意地点・県境案内 有料道走行時に注意地点と県境を音声で案内するか設定します。	ON	
	踏切案内 前方に踏切がある場合に音声で案内をするか設定します。	ON	
	右左折専用レーン案内 前方の直進レーンが右折または左折レーンに変化する場合、案内をするか設定します。	ON	
	リフレッシュ案内 2時間以上本機を連続して使用した場合、休憩を促す案内をするか設定します。	ON	
	ライト点灯案内 日が暮れるタイミングでライトの点灯を促す案内をするか設定します。	ON	
	エコ運転評価案内 ルート案内後にエコ運転評価案内をするか設定します。	ON	
	逆走警告 高速道路で逆走を検知した場合にメッセージと音声で通知するかを設定します。	ON	
	オートパーキングメモリー オートパーキングメモリーの保存および保存データ(履歴)を利用してルート探索を行うかを設定します。	ON	
	ビーコン即時表示 受信したビーコン情報(ITSスポットの5.8 GHz VICS情報)から、即時に表示する情報の種類を設定します。	文字・ 図形・音声	
	ビーコン即時表示時間 ビーコン即時表示を画面上に表示させておく時間を設定します。	10秒	
	渋滞オートガイド ルート上に発生した渋滞情報を自動で音声案内するかを設定します。	ON	
	渋滞情報表示	渋滞情報表示対象道路 渋滞情報を表示する対象になる道路を設定します。	有料道・一般道
		渋滞情報表示 渋滞情報を地図上に道塗り表示するかを設定します。	ON
順調表示 渋滞していない道路情報を地図上に道塗り表示するかを設定します。		OFF	
点滅表示 渋滞・混雑・順調の情報を地図上に表示させる際、点滅表示させるかの設定をします。		ON	
規制表示 規制情報と規制区間を地図上に表示するかを設定します。		ON	
駐車場情報マーク表示 駐車場や臨時駐車場の満空情報マーク、充電スポットの情報マークを地図上に表示するかを設定します。		ON	
区間旅行時間表示 区間旅行時間マークを地図上に表示するかを設定します。		ON	

## メモ

- 本機に表示される一時停止マークやゾーン30エリアは実際の交通規則や道路標識と異なる場合があります。その場合は、必ず、実際の交通規則や道路標識に従って走行してください。
- 収録されている冠水注意地点は、実際に冠水する可能性のある全ての地点を保証するものではありません。

## 音楽や映像を楽しもう

CDやDVDなどの音源や映像のことをAVソースといいます。

### AVソースを切り換える

- 1 **メニュー** を押し、**AV** にタッチする
- 2 AVソースを選んでタッチする



選んだAVソースの画面(AVソース画面)に切り換わります。

### AVソースについて

<b>DISC (CD/ROM/DVD)</b> ※1	音楽CD、楽曲や映像を記録したCD-R/RW/DVD-R/RW、DVD-VideoやDVD-VRを再生できます。挿入されたディスクの種類に応じて、AVソースのアイコンが変わります。
<b>SD</b> ※1	SDカードに保存した音楽ファイルや映像ファイルを再生できます。
<b>FM/AM</b>	ラジオが聞けます。
<b>DTV</b>	テレビが見られます。
<b>iPod</b> ※1	接続したiPodの音楽ファイルや映像ファイルを再生できます。別売のUSB接続ケーブル「CD-U120」または「CD-U420」とiPod用USB変換ケーブル「CD-IUV51M」が必要です。
<b>USB</b> ※1	USBメモリーに保存した音楽ファイルを再生できます。別売のUSB接続ケーブル「CD-U120」または「CD-U420」が必要です。
<b>AUX</b> ※1	接続したビデオカメラなどの外部機器の映像と音声を再生できます。
<b>ドライブレコーダー</b> ※2	接続したドライブレコーダーの映像を表示したり、録画した動画を再生できたりします。
<b>交通情報</b>	幹線道路などで放送されているAMの交通情報が聞けます。

※1：機器やメディアが接続されていないAVソースは選択できません。

※2：ドライブレコーダー設定をONにした場合(→P53)

### AVソースをOFFにする

- 1 **メニュー** を押し、**AV OFF** にタッチする

AVソースがOFFになります。

#### メモ

- **AV** を長く押し、AVソースをOFFにすることもできます。

### AVソースを操作する

基本的なAVソースの操作方法について、CDを例に説明します。

#### メモ

- 選んだAVソースによって、操作方法や表示されるタッチキーは異なります。詳しくは、『ユーザーズガイド』をご覧ください。(ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書のP11をご覧ください。)
- あらかじめ再生したい音楽CDを挿入してください。(→P20)

- 1 **メニュー** を押し、**AV** **CD** にタッチする

#### 通常再生画面



タイムバー

<b>リスト</b>	リスト画面を表示します。
<b>リピート</b> 、 <b>ランダム</b>	タッチするごとに、特殊再生を行います。
<b>▶/⏸</b>	再生中は一時停止し、一時停止中は再生を再開します。
<b>◀◀/▶▶</b>	早戻し/早送りをを行います。
タイムバー	再生時間と経過時間を表示します。



リスト項目 | タッチした曲を再生します。

### ソース別設定を行う

ソース別設定とは、オーディオや映像に関する設定を行うメニューです。

1 **メニュー**を押し、**設定・編集**—**ソース別設定**にタッチする

2 設定したい機能を選んでタッチする



<b>DISC設定</b>	DVD-Video、DVD-VRに関する字幕や音声、映像出力などの設定ができます。
<b>DTV設定</b>	視聴者設定クリアとオート放送局サーチ設定ができます。
<b>SD設定</b>	映像ファイルの出力設定などができます。
<b>AUX設定</b>	外部機器の入力設定ができます。

## オーディオ設定をしてみよう

再生中の音源に合わせて設定を変更したり、音質をお好みに合わせて調整できます。

1 **メニュー**を押し、**設定・編集**—**オーディオ設定**にタッチする



カンタンベース設定では、以下の項目を選択することで、あらかじめセットされたグラフィックイコライザー、音場設定、フェーダー、ラウドネス、HPF、バスブースターの項目が一括で設定されます。

工場出荷時は「フラット(初期状態)」です。

- 迫力アップ
- 音声くっきり
- 前席メイン
- 後席メイン
- フラット(初期状態)

詳細設定では、項目別に設定することができます。設定読み込みでは、SDカードに書き出したオーディオ設定の設定ファイルを読み込むことで、一括でオーディオ設定の各種設定項目を設定できます。

### メモ

- 設定読み込みに関して詳しくは『ユーザーズガイド』をご覧ください。(ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書のP11をご覧ください。)

## オーディオ設定の詳細設定項目一覧

設定項目	工場出荷時
<b>フェーダー／バランス設定</b> 前後左右の音量バランスを調整できます。	0 / 0
<b>リスニングポジション設定</b> 乗車位置や乗車人数に合わせて、聞く位置を選択することができます。	OFF
<b>グラフィックイコライザー設定</b> あらかじめ用意された5つの設定(ファクトリーカーブ)とお好みで調整した設定(CUSTOM)からイコライザーカーブが選べます。	FLAT
<b>タイムアライメント設定</b> 各スピーカーからリスニングポジションまでの距離を調整することで、音声の到達時間を補正し、音源の定位や全体的なバランスを調整することができます。	0 cm
<b>ハイパスフィルター設定</b> 選択した周波数より低い周波数の音がサブウーファー以外の各スピーカーから出力されないように設定できます。	OFF
<b>サブウーファー設定</b> サブウーファーから出力される音の設定を行うことができます。	ON
<b>スピーカー出力設定</b> 各スピーカーからの出力レベルを調整することができます。	± 0
<b>ソースレベルアジャスター設定</b> AVソースを切り換えたときに音量の違いが出ないように、FMの音量を基準にして各AVソースの音量の差をそろえることができます。	± 0
<b>音場設定 (VSC)</b> お好みの音場をリアルに再現できます。	OFF
<b>バスブースター設定</b> スピーカーやサブウーファーから出力される低音域の増強効果を設定できます。	0
<b>ラウドネス設定</b> 小さな音量で聞いているときに、低高音の不足感を補正してメリハリのある音にできます。	OFF
<b>アイドリングアッテネーター設定</b> アイドリングストップ車の車両状態と連動するように、AVソースのボリュームを調整することができます。	OFF
<b>オーディオ設定SDカード書き出し</b> オーディオ設定をSDカードへ書き出すことができます。	—

## 再生できるファイルとメディアの種類

本機では、下記の音楽ファイルおよび映像ファイルを再生できます。

	コーデック	拡張子	対応メディア			
			 CD-R/RW	 DVD-R/RW	 USBメモリー	 SDカード
音楽ファイル	WMA	.wma	○	○	○	○
	MP3	.mp3	○	○	○	○
	AAC	.m4a	○	○	○	○
	WAV	.wav	—	—	○	○
映像ファイル	MPEG-4	.avi	—	—	—	○
		.mp4/.m4v	—	—	—	○
	H.264	.mp4/.m4v	—	—	—	○
	WMV	.wmv	—	—	—	○
最大フォルダー数			700		300	
最大ファイル数			999	3 500	5 000	

○：対応 —：非対応

### メモ

- 雑音や故障の原因となりますので、異なるフォーマットのファイルに上記拡張子を付けしないでください。
- DRM (デジタル著作権管理) 付きのファイルの再生には対応していません。
- WMVのマルチビットレートファイルの再生は、動作保証外です。

## 音声コーデックについて

対応しているサンプリング周波数、ビットレート、量子化ビット数は以下の通りです。

### ■対応音声コーデック一覧

	WMA	MP3	AAC	WAV
サンプリング周波数	8 kHz ~ 48 kHz	MPEG1: 32 kHz ~ 48 kHz MPEG2: 16 kHz ~ 24 kHz MPEG2.5: 8 kHz ~ 12 kHz	8 kHz ~ 48 kHz	16 kHz ~ 48 kHz
ビットレート	CBR: 5 kbps ~ 320 kbps VBR: 48 kbps ~ 192 kbps Quality based VBR: 10 kbps ~ 98 kbps	MPEG1: 32 kbps ~ 320 kbps MPEG2: 8 kbps ~ 160 kbps MPEG2.5: 8 kbps ~ 160 kbps	8 kbps ~ 320 kbps	—
量子化ビット数	16	16	16	16

## メモ

- エンコードしたアプリケーションによっては、正常に動作しないことがあります。
- エンコードしたアプリケーションによっては、アルバム名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。
- 本機では、Windows Media Player Ver. 7/8/9を使用してエンコードしたWMAファイルを再生することができます。
- 下記形式には対応していません。
  - Windows Media Audio 9 Professional
  - Windows Media Audio 9 Lossless (可逆圧縮)
  - Windows Media Audio 9 Voice
- ひとつのMP3ファイルの中に、異なるバージョン (v1, v2) のID3タグ情報が存在する場合は、v2のタグ情報を優先に表示します。
- m3uのプレイリストには対応していません。
- MP3i (MP3 interactive) フォーマット、およびMP3 PROフォーマットには対応していません。
- 本機では、Windows版のiTunesを使用してエンコードされたAACファイルの再生に対応しています。
- 画像データを含むAACファイルを再生する場合、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。
- AACファイルをエンコードしたiTunesのバージョンによっては、正しく再生されないことがあります。
- 本機は、LPCM形式でエンコードされたWAVファイルの再生に対応しています。
- 表示されるサンプリング周波数の桁は、すべてではないことがあります。

## 映像コーデックについて

対応している解像度、フレームレート、ビットレートは以下の通りです。

## ■対応映像コーデック一覧

	MPEG-4 Video	H.264 /AVC	WMV (VC-1)
プロファイル	Simple Profile	Baseline Profile	Simple Profile
最大解像度(ピクセル) @最大フレームレート	720×480@30 fps	720×480@30 fps	720×480@30 fps
最大ビットレート(平均値/ピーク値) <sup>*1</sup>	4 Mbps/8 Mbps	2.5 Mbps/8 Mbps	768 kbps/-

<sup>\*1</sup>：映像コンテンツ全体の平均ビットレートが最大ビットレート(平均値)を超えていなくても、瞬間的なビットレートが最大ビットレート(平均値)を連続的に超えると、正常に再生できない場合があります。

## メモ

- 作成したアプリケーションによっては、正常に動作しないことがあります。

## 音声コーデックと映像コーデックの組み合わせについて

対応している音声コーデックと映像コーデックの組み合わせは以下の通りです。

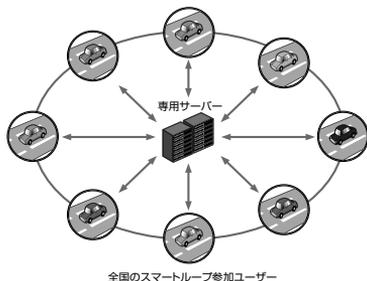
		映像ファイルフォーマット		
		AVI (.avi)	MP4 (.mp4/.m4v)	ASF (.wmv)
音声コーデック	None	○	○	○
	MP3	○	—	—
	WMA	—	—	○
	AAC	—	○	—
	LPCM	○	—	—
映像コーデック	MPEG-4 Video	○	○	—
	H.264/AVC	—	○	—
	WMV (VC-1)	—	—	○

○：対応 —：非対応

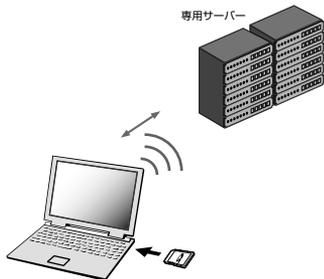
## スマートループを利用してみよう

「スマートループ」とは、ご利用登録していただいたお客様からご提供いただく走行履歴データや地点データ、オートパーキングメモリーデータなどを専用サーバーで蓄積管理し、カロツェリア独自のデータを加えてスマートループ参加ユーザーへ配信する情報共有システムです。スマートループの利用方法は、車載でのご利用と、SDカードとナビスタジオをインストールしたパソコンを組み合わせてのご利用の2通りがあります。

### 車載(リアルタイムプローブ)



### SDカード + パソコン(蓄積型プローブ)



## スマートループ渋滞情報を利用するために必要なこと

スマートループ渋滞情報を利用するためには、次の4つのステップで登録や設定を行います。

### ① お客様登録(無料)をする(→P19)

※ マイセットアップ(→P15)で「スマートループお試し登録」を行っていただいた場合は、お客様登録(無料)およびスマートループ設定の初期登録をしなくてもスマートループ渋滞情報を期間限定で体験していただくことができます。体験期間終了後も引き続きスマートループ渋滞情報をご利用される場合や、本機の新機能をお使いになる場合は、お客様登録(無料)を行ってください。

### ② 通信機器を準備する(→P50)

### ③ スマートループ設定をする(→P50)

## 通信機器を準備する

別売のデータ通信専用通信モジュールをご購入いただき、USBケーブルを使って本機と接続します。別売のUSB接続ケーブル「CD-U120」をご購入ください。なお、他のUSB機器やiPodと同時使用をお考えの場合は、「CD-U120」と「CD-U420」をそれぞれ1本ずつご購入ください。

## スマートループ設定をする

初期登録\*、プローブ情報送信、SDカード保存設定、プローブ情報受信の設定を行います。プローブ情報とは、車両を通じて収集される位置・時刻・路面状況などのデータです。

スマートループでは、より正確な渋滞情報を得るために、お客様からプローブ情報をご提供いただいております。

※ 通信機能で「お客様登録」を行っている場合、または「スマートループお試し登録」を行っている場合は、手順2～4は行わず、手順5に進んでください。

- 1 **メニュー** を押し、**設定・編集** - **スマートループ設定** にタッチする
- 2 **スマートループ初期登録** - **登録する** にタッチする



専用サーバーに接続されます。

- 3 **初期登録 (WEB でのお客様登録がお済の方はこちら)** にタッチする

### メモ

・インターネットでのお客様登録(→P19)がお済みでない場合は、**お客様登録(お客様登録がお済みでない方はこちら)** にタッチしてお客様登録を行ってください。お客様登録完了後、手順5に進んでください。(お客様登録は無料)

- 4 **ニックネームとパスワードを入力し、決定** にタッチする

### メモ

・ニックネームとパスワードは、お客様登録時に設定されたものを入力します。お客様登録(無料)がお済みでない場合は、先にお客様登録を行い(→P19)、ニックネームとパスワードを取得してください。

## 5 プローブ情報送信設定にタッチする



## 6 ONにタッチする



スマートループが利用可能になります。手順7以降は必要に応じて設定してください。

### メモ

- OFFのままでは、プローブ情報の送信を行わないため、スマートループは利用できません。
- ONからOFFに変更すると、本機に保存されているプローブ情報の消去確認メッセージが表示されず。設定を変更する場合は、キャンセルする場合はいいえにタッチしてください。

## 7 SDカード保存設定にタッチする



## 8 蓄積型プローブ情報をSDカードに保存するタイミングを選んでタッチする



### メモ

- マニュアルに設定した場合でもプローブ情報送信設定がON状態でマップチャージ(全データ更新)を行うと、本機を次回起動したときにプローブ情報がSDカードへ保存されます。

## 9 渋滞情報取得開始設定にタッチする



## 10 オートまたはマニュアルにタッチする



### メモ

- マニュアルに設定された場合は、「スマートループ渋滞情報の取得のしかた」(→ P52)をご覧ください。
- オートに設定された場合は、本機が起動後、本機が初めて通信機器との接続を確認した時点で、1度だけ自動的に渋滞情報を取得します。

## 11 渋滞情報連続取得設定にタッチする

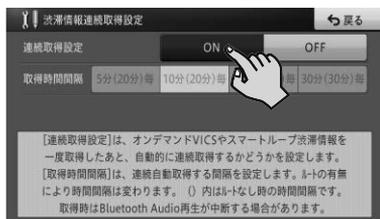


以上で、スマートループ設定は完了です。

### メモ

- ON に設定すると、通信費および接続料金発生に関するメッセージが表示されます。通信費および接続料金はお客様負担となります。承諾される場合ははいにタッチしてください。
- ON に設定された場合は、続けて取得時間間隔も設定してください。

## 12 ONまたはOFFにタッチする



## スマートループ渋滞情報の取得のしかた

### 1 現在地画面で、渋滞に長くタッチする

スマートループ渋滞情報を取得します。

### メモ

- 渋滞情報メニュー(→P29)の「情報取得」にタッチして、スマートループ渋滞情報を取得することもできます。

## スマートループ渋滞情報取得画面の見かた

スマートループ渋滞情報のうち、プローブ情報から生成された渋滞情報は点線で表示され、VICSセンサー経由で配信された渋滞情報は実線で表示されます。

### 有料道路への表示

渋滞	赤色の破線(濃い青色の枠)
混雑	橙色の破線(濃い青色の枠)
順調	空色の破線(濃い青色の枠)

### 一般道への表示

渋滞	赤色の破線(淡い赤色の枠)
混雑	橙色の破線(淡い橙色の枠)
順調	空色の破線(淡い青色の枠)

### 情報提供時刻表示

橙色	情報受信後 5 分未満の状態
青色	情報受信後 5 分以上 30 分未満の状態



### メモ

- スマートループ渋滞情報が正しく取得できている場合は、情報提供時刻表示が「S 〇〇 : 〇〇」と表示されます。「〇 〇〇 : 〇〇」と表示されている場合は、オンデマンドVICS 情報のみが取得されています。再度、スマートループ設定などを確認してください。
- スマートループおよびオンデマンドVICSについて、詳しくは『ユーザーズガイド』をご覧ください。(ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書のP11をご覧ください。)

## ドライブレコーダーを使ってみよう

別売のドライブレコーダーを接続すると、本機を通して映像やメッセージの確認、およびドライブレコーダーの操作を行うことができます。

### ドライブレコーダーリンク機能について

本機とドライブレコーダーを接続すると以下のことが行えます。

- 接続状態画面でドライブレコーダーの接続状況を確認できます。
- 録画時や静止画撮影時に、緯度経度・方位角・時速の情報を取得します。
- ナビゲーションのGPS機能を使って、自動的に年月日、時刻の情報を取得します。

また、本機のドライブレコーダーリンク機能をONにすると、ドライブレコーダーと連携して次の機能を使うことができます。

- ドライブレコーダー本体のボタンと同じ操作をタッチ操作で行えます。
- セキュリティモード中に振動を検出すると、ナビゲーション起動時に通知メッセージでお知らせします。
- イベント撮影（手動操作および衝撃検知時）にナビ画面およびAV画面にてメッセージを表示します。⇒『ユーザーズガイド』（ユーザーズガイドの閲覧方法は、本書のP11をご覧ください。）
- ドライブレコーダーに異常が発生した場合にナビ画面およびAV画面にエラーコードを表示します。⇒『ユーザーズガイド』（ユーザーズガイドの閲覧方法は、本書のP11をご覧ください。）

メッセージ表示時の例  
(セキュリティ検知時の通知)：



### メモ

- 初めて本機と接続したときは、本機のGPS測位がセンサー学習完了までドライブレコーダーリンク機能が動作しないことがあります。
- 走行中はRECボタンのみ操作できます。ドライブレコーダーからの出力映像も表示されません。
- 緯度経度・方位角・時速の情報は撮影中の画面では確認できません。撮影後のファイルに表示されます。

## ドライブレコーダーリンク機能を設定をする

- 1 **メニュー**を押し、**設定・編集**→**システム設定**にタッチする
- 2 **ドライブレコーダー設定**にタッチする



- 3 **ON**または**OFF**にタッチする



ON	ドライブレコーダーリンク機能を有効にします。
OFF	ドライブレコーダーリンク機能を無効にします。

ドライブレコーダーリンク機能の設定が完了します。

### メモ

- ドライブレコーダー設定をONにすると、AVメニュー画面の**AUX**が**ドライブレコーダー**に切り替わります。

## 接続状態を確認する

ドライブレコーダーの接続状態の確認を行います。

- 1 **メニュー** を押し、**情報** - **システム情報** にタッチする
- 2 **接続状態** にタッチする



- 3 **次ページ** にタッチしてページを送り、オプション接続画面を表示する



ドライブレコーダー

## ドライブレコーダーの映像を表示する

- 1 **メニュー** を押し、**←AV** にタッチする
  - 2 **ドライブレコーダー** にタッチする
- ドライブレコーダーの映像が表示されます。



画面にタッチすると、ドライブレコーダーを操作するためのタッチキーが表示されます。



本機の画面でドライブレコーダーを操作することができます。

### メモ

- ドライブレコーダーの操作方法や内容については、ドライブレコーダーに付属の取扱説明書をご覧ください。

## ナビスタジオを使ってみよう

パソコンリンクソフト「ナビスタジオ」をパソコンにダウンロードして、パソコンで作成したルートや地点の情報をSDカード経由で本機へ転送できます。また、マップチャージ(地図更新)もできます。

### メモ

- ナビスタジオの全機能をご利用いただくには、お客様登録(→P19)が必要です。
- ナビスタジオを使用して全データ更新を行う場合には、16 GB以上のSDカードが必要です。
  - 8 GBのSDカードを2枚使用することでも、全データ更新は可能です。
  - お使いいただいているパソコンがSDHCカードおよびSDXCカードに対応していない場合には、SDHCカードおよびSDXCカードに対応したカードリーダー/ライターなどをご使用ください。
  - ナビスタジオで取得したり編集した情報は、本機にSDカードを挿入すると自動的に本機に反映されます。

## 動作環境について

下記の条件を満たしているパソコンにセットアップし、利用することができます。

OS	Microsoft® Windows® 8.1/Pro ※ Windows RTには対応していません。 ※ 64 bit版では、32 bit互換モード(WOW64)で動作します。 ※ いずれも日本語版のみ対応	Microsoft® Windows® 10 Home/Pro ※ 64 bit版では、32 bit互換モード(WOW64)で動作します。 ※ いずれも日本語版のみ対応
メモリ	32 bit版：1 GB以上 64 bit版：2 GB以上 (推奨値2 GB以上)	
CPU	1 GHz以上	
ハードディスク	100 MB以上の空き容量(地図データ更新時には約16 GBの空き容量が必要です。)	
ディスプレイ	解像度1 024x768・発色数16 bit(65 536色)以上	
その他	<ul style="list-style-type: none"><li>● インターネットに接続できる環境が必要です。</li><li>● インストール時、使用時ともにシステム管理者(Administrator)権限が必要です。</li><li>● 初回ご利用時はナビゲーションにてSDカードの初期登録を行っていただく必要があります。</li><li>● SDHCカードおよびSDXCカードを認識できる環境が必要です。お使いのパソコンがSDHCカードおよびSDXCカードに対応していない場合は、市販のUSBカードリーダーなどをご使用ください。</li></ul>	
注意事項	<ul style="list-style-type: none"><li>● 上記の条件を満たすすべてのパソコンで動作を保証するものではありません。</li><li>● Macintoshには非対応です。</li><li>● Windows® 8.1のModern UI design機能は非対応です。</li><li>● OSのアップグレード環境での動作は保証していません。</li><li>● マルチブート環境での動作は保証していません。</li><li>● お客様が自作されたパソコンでの動作は保証していません。</li><li>● 他のソフトウェアが同時に起動している場合はこの限りではありません。</li><li>● パソコンの環境によっては、SDカードが認識できなかったり一部機能をご利用いただけないなどの不具合が発生する場合があります。その際の損失並びにその他の直接または間接的な障害につきましては、当社および販売店等に故意または重過失がない限り、当社および販売店などはその責任を負いません。</li><li>● パソコン環境に関するお問い合わせは、パソコン購入元の各メーカー、または販売店にお願いします。</li></ul>	

### メモ

- 最新のOSについてはカロッツェリアホームページ(<https://jpn.pioneer/ja/carrozzeria/>)をご確認ください。

## ナビスタジオのダウンロード・ セットアップについて

下記URLにアクセスしてダウンロードし、表示される内容に従ってセットアップを行ってください。インターネット接続ができないパソコンの場合、セットアップができませんのでご注意ください。

<https://jpn.pioneer/ja/car/navistudio/>

### メモ

- ナビスタジオの詳しいセットアップ方法は、「セットアップマニュアル」をご覧ください。「セットアップマニュアル」は、ナビスタジオと同じ上記URLでダウンロードできます。

## SDカードを本機に登録する

本機とパソコン間でのデータ転送などは、SDカードを使って行います。使用できるSDカードは、本機に登録されたSDカードのみとなります。

### 1 ナビゲーション本体にSDカードを挿入する(→P21)

本機をご購入後はじめてSDカードを挿入すると、SDカード登録確認メッセージが表示されます。

### 2 はいにタッチする



挿入したSDカードが、ナビスタジオ用として本機に登録されます。

### メモ

- 「いいえ」にタッチした場合は、登録が行われず、ナビスタジオ用としては使えません。

### 3 確認にタッチする



SDカードを取り出し、パソコンにセットしてください。以降は『セットアップマニュアル』をご覧ください。

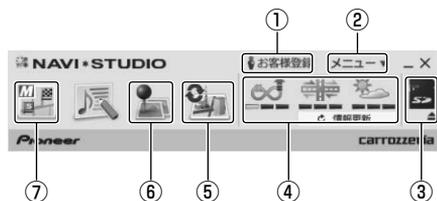
### メモ

- SDカード登録確認メッセージは、一度登録が完了したあととは別のSDカードを挿入しても表示されません。はじめに登録したSDカードを別のものに変更したい場合は、システム設定メニュー(→P30)の「その他設定」-「SDカード登録確認メッセージ表示」をONに設定してください。
- あらかじめ、SDカードのライトプロテクト(書き込み防止)を解除してください。

## ナビスタジオを使ってできること

ナビスタジオを起動するとランチャーが表示されます。ランチャー内の各アイコンをクリックするとアプリケーションが起動します。各機能に関する詳しい説明は、ナビスタジオのオンラインヘルプをご覧ください。

### ランチャー



#### ① お客様登録メニュー

ナビスタジオセットアップ画面を表示して、お客様登録や各種セットアップができます。

#### ② メニュー

機種選択や各種設定ができます。オンラインヘルプも、こちらからご覧いただけます。

#### ③ SDカード管理機能

SDカードの取り出し、処理中断など、SDカードの動作管理ができます。

#### ④ 情報更新メニュー

プローブ情報のアップロードやスマートループ渋滞情報、ウェザーライブのダウンロードなどができます。

- ⑤ **アップデートマネージャー**  
パソコン上で、地図データの更新、各種データのダウンロード、各種データの転送などのデータ管理ができます。
- ⑥ **メンテナンスマネージャー**  
パソコン上で、登録地データの編集などのデータ編集ができます。
- ⑦ **MapFan Web forカロッツェリア**  
「お出かけフォルダ連携」機能をご利用いただけます。  
「MapFan Web」のブックマークに保存したスポット情報を、SDカードまたは通信経由で本機に転送し、利用できます。  
ご利用には、スマートループの利用登録とMapFan会員IDの登録が必要です。

## バージョンアップ（マップチャージ）をする

マップチャージを利用するときは、以下の手順で行ってください。

### メモ

- 2021年11月開始(予定)のマップチャージ(有償)にてバージョンアップすることができます。
- マップチャージに関する詳しい説明は、「ユーザーズガイド」をご覧ください。(ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書のP111をご覧ください。)
- バージョンアップ用のSD更新版を販売予定です。詳しくは弊社ホームページをご覧ください。または、カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

## ナビゲーションでの操作

### 1 SDカードをナビゲーションに登録する(→P56)

## パソコンでの操作

### 1 お客様登録(無料)をする(→P19)

### 2 ナビスタジオをインストールする(→P55)

インターネット接続可能なパソコンを準備し、ナビスタジオをダウンロードしてインストールします。

### 3 SDカードをパソコンにセットする

ナビゲーションに登録したSDカードをパソコンにセットします。

### メモ

- パソコンがSDHCおよびSDXCカードに対応していない場合は、SDHCおよびSDXCカード対応のカードリーダーを準備してください。

### 4 初期登録を行う

SDカードをパソコンにセットするとナビスタジオが自動起動するので、お客様登録時に取得したニックネームとパスワードを入力します。

### メモ

- 自動起動しない場合は、デスクトップのナビスタジオのアイコンをダブルクリックしてください。

### 5 アップデートマネージャーを起動し、「開始」ボタンをクリックして更新データをダウンロードする

全データ更新の場合は、ダウンロード予約が必要です。

### メモ

- 全データ更新は年2回、地点情報データの更新および道路データの更新は毎月を予定しています。(整備スケジュールの都合上、更新対象がない月もあります。)

## ナビゲーションでの操作

### 1 SDカードを本機に入れる(→P21)

更新データが保存されたSDカードをパソコンから取り外し、ナビゲーションに挿入します。  
ナビゲーションに表示されるメッセージに従い、バージョンアップを行います。

### メモ

- 地点情報データの更新/道路データの更新の場合、バージョンアップ中もナビゲーションを利用できます。全データ更新の場合、バージョンアップ中はナビゲーションを利用できません。

## オプション品を使って本機をより楽しもう

本機には、下記のオプション類が組み合わせられます。

### ☑メモ

• 下記の型番は代表例です。車種や条件によって組み合わせできない場合もあります。詳しくは販売店へお問い合わせください。

### ■ ETC2.0ユニット

別売のETC2.0ユニットを接続すると、上記ETC機能に加えて、渋滞回避、安全運転支援等の情報提供サービスを利用することができます。また、ITSスポットを通して収集される経路情報を活用した新たなサービスを導入する予定です。  
※ 本機はETC2.0サービスのすべてのサービスのご利用を保証するものではありません。

### ■ ETCユニット

別売のETCユニットを接続すると、ETCカードの有効期限について音声でアナウンスしたり、ETCカードに記録されている利用履歴、ETCユニットの車載器管理番号を本機の画面で確認することができます。

### ■ 各種接続ケーブル

別売の各種接続ケーブルを使用すると、本機にiPodやiPhoneを接続して音楽や映像を再生できます。ケーブルの種類について、詳しくは「取付説明書」-「iPhone/iPodの接続」をご覧ください。

### ■ データ通信専用通信モジュール

別売のデータ通信専用通信モジュールを接続すると、専用サーバーへ接続して本機の通信機能をご利用いただけます。データ通信専用通信モジュールのご購入代金には、最大約3年間分(ご使用開始日から当月末までの日数分+35ヶ月間分)の通信費および接続料金が含まれています。3年間経過後、継続して通信機能をご使用になる場合には別途手続きが必要です。

### ☑メモ

• 電話としての機能はありませんのでご注意ください。  
• 他のUSB 機器を同時にお使いになる場合は、別売のUSB 接続ケーブル「CD-U120」をお使いください。詳しくは「取付説明書」-「システムの接続2」をご覧ください。

### ■ リアモニター

別売のリアモニターを接続すると、本機の映像を後部座席でも楽しむことができます。リアモニターに表示される映像は次の通りです。  
○：表示します ×：表示しません

ワンセグ	×
DVD	○
iPod ビデオ	○
SD の映像ファイル	×
AUX	○
ナビゲーション	×
バックカメラ	×
AV ソース画面	×

### ❗注意

• リアモニターには走行中/停車中に関係なく映像が表示されるため、走行中に運転者が映像を見ることができない位置に設置してください。

### ■ 汎用バックカメラユニット

別売のRCA出力の汎用バックカメラユニット「ND-BC8Ⅱ」などを接続すると、駐車時に後方の映像を本機に表示させることができます。カメラ映像には駐車アシスト線を表示させることができます。また、車両に合わせて駐車アシスト線の調整も行えます。

### ☑メモ

• 本機に汎用のバックカメラを接続した場合は、カメラ設定の入力をONにする必要があります。⇒「取付説明書」-「バックカメラの設定を行う」

### ■ ドライブレコーダー

別売のドライブレコーダーを接続すると、本機を通して映像やメッセージの確認、およびドライブレコーダーの操作を行うことができます。

### ■ ステアリングリモコンケーブル/ステアリングリモコンアダプター

別売またはキットに付属のステアリングリモコンケーブルまたは別売のステアリングリモコンアダプターを接続すると、純正ステアリングリモコン(装備車のみ)を使って本機の一部の操作をハンドルを握ったまま行うことができます。

## 故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に、以下の内容をチェックしてください。チェックしても直らないときはP70の「保証書とアフターサービス」をお読みになり修理を依頼してください。

共通項目		
症状	原因	処置
電源が入らない、動作しない。	エンジンがかかっていない。	エンジンまたはACCをONにしてください。
	ヒューズが切れている。	ヒューズが切れた原因を解決し、切れたヒューズを同じ容量のヒューズと交換してください。
	接続ケーブルが正しく接続されていない。	接続ケーブルが正しく接続されているかご確認ください。⇒「取付説明書」
	周囲の温度が極度に低いまたは高い。	本機には、使用温度範囲（→P70）があります。使用温度範囲になるまで、エアコンなどで温度を調節してください。
起動に時間がかかることがある。	本機がシステムの最適化を行っている。	自動的に行われる処理で、故障ではありません。
起動時にバックカメラ画像になつてしまう。 地図画面が出ない。	バックカメラの極性の設定が正しくない。	バックカメラの極性を正しく設定してください。⇒「取付説明書」
画面に何も表示されない。	ナビスタンバイ状態になっている。	画面にタッチして、ナビスタンバイを解除してください。
画質調整ができない。	停車していない。またはパーキングブレーキをかけていない。	車を安全な場所に停車してから操作してください。また、簡易ハイブリッド方式で使用中はパーキングブレーキをかけてから操作してください。
画面に小さな黒い点や明るく光る点がある。	液晶特有の現象で、故障ではありません。	—
画面の残像が目立ったり、画質が劣化して見える。	周囲の温度が極端に低い。	周囲の温度が高まると通常画質に戻ります。
バッテリー交換後、本機を起動したらパスワード入力画面になっている。	セキュリティロックが動作している。	設定したパスワードを入力して、ロックを解除してください。⇒「ユーザーズガイド」(ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書のP11をご覧ください。)
タッチキーの表示が薄く、タッチしても反応しない。	走行規制などで、走行中は操作できないタッチキーである。	車を安全な場所に停車してから操作してください。また、簡易ハイブリッド方式で使用中はパーキングブレーキをかけてから操作してください。
	設定や接続状況などにより、操作できないタッチキーである。	本書や取付説明書またはユーザーズガイドで設定や接続状態を確認してください。(ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書のP11をご覧ください。)
自車位置を測位できない。	GPSアンテナの上に電波をさえぎる物を置いている。	GPSアンテナの上には何も置かないでください。
	GPS受信感度が低い。	GPSアンテナの感度を確認して、GPSアンテナの位置を変更してください。車内に取り付けている場合は、必ず金属シートを使用してください。
測位誤差が大きい。	3Dハイブリッドセンサーが正しく学習されていない。	3Dハイブリッドセンサーのメモリーをリセットして、学習をやり直してください。⇒「ユーザーズガイド」(「誤差について」(ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書のP11をご覧ください。))
自車位置が正しくない。	自車位置がずれている。	GPS測位が可能な状態で、しばらく走行すると自車位置が修正されます。⇒「ユーザーズガイド」(「誤差について」(ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書のP11をご覧ください。))
	車速パルスが正しく入力されていない。	取付け状態画面で、接続を確認してください。⇒「取付説明書」
走行を開始しても地図が動かない。	現在地画面を表示していない。	〔現在地〕を押して、現在地画面にしてください。

困ったときは

症状	原因	処置
地図の向きが変わらない(自車マークが上でない方向に向かう)。	地図の向きがノースアップになっている。	地図の向きをヘディングアップに変更してください。→P36の「地図の向きを変える」
ナビゲーションの案内音声が出ない。	ナビゲーションの音量設定が0になっている。	ナビゲーションの音量設定を調整してください。→P23の「ナビゲーションの音量を調整してみよう」
地図上にVICS情報が表示されない。	受信したVICS情報が表示されるまで数分かかることがある。	表示されるまで、お待ちください。
	VICSの受信感度が良くない。	放送局を最も受信感度の良い放送局に変更してください。⇒『ユーザーズガイド』(ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書のP11をご覧ください。)

## オーディオ共通項目

症状	原因	処置
DVDやテレビなどの映像が見られない。	走行中である。	本機は安全のため走行中にテレビやDVDなどの映像を見ることはできません。映像をご覧になる場合は、安全な場所に停車してお楽しみください。また、簡易ハイブリッド方式で使用中はパーキングブレーキをかけてから操作してください。
	パーキングブレーキ線を接続していない。	簡易ハイブリッド方式で使用中はパーキングブレーキ線を正しく接続してください。⇒『取付説明書』
音声案内時に、一時的にオーディオの音がとぎれたり、聞こえづらくなる。	消音設定がされている。	消音するタイミングや消音レベルを調整してください。⇒『ユーザーズガイド』(ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書のP11をご覧ください。)
前/後/左/右のスピーカーから音が出ない。	前後左右の音量バランスの調整が適切でない。	正しく調整・設定してください。⇒『ユーザーズガイド』(ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書のP11をご覧ください。)
音量が勝手に下がってしまう。	アイドリングアッテネーター設定が「ON」に設定されている。	アイドリングアッテネーター設定を「OFF」に設定してください。⇒『ユーザーズガイド』(ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書のP11をご覧ください。)

## FM/AM

症状	原因	処置
ラジオ受信中に“ジージー、ザーザー”という雑音が多い。	放送局の電波が弱い。	他の放送局を選局してください。⇒『ユーザーズガイド』(ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書のP11をご覧ください。)
	周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態の安定した場所に移動して、受信してください。
自動選局できない。	強い電波の放送局がない。	手動で選局してください。⇒『ユーザーズガイド』(ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書のP11をご覧ください。)
FMは受信するが、AMが受信できない。 受信感度が悪い。	アンテナコントロールが接続されていない。	アンテナコントロールを正しく接続してください。⇒『取付説明書』
	自動車のアンテナが伸びていない。	アンテナを十分に伸ばしてください。

## DVD

症状	原因	処置
再生できない。	本機のリージョン番号と異なるディスクを挿入した。	本機と同じリージョン番号のディスクに交換してください。→P68の「DVDに表示されているマークの意味」
	ファイナライズされていないディスクを挿入している。	ファイナライズされたディスクを挿入してください。
ディスクを入れても自動的に再生しない。	ディスクによっては、ディスクメニューが表示されて自動的に本編を再生しない場合がある。	ディスクメニューを操作して、再生を開始するか、オートプレイをONに設定してください。⇒『ユーザーズガイド』(ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書のP11をご覧ください。)
音が出ない。	静止画、スロー、コマ送り再生中である。	静止画、スロー、コマ送り再生中に、音声を聞くことはできません。
視聴制限のメッセージが表示され、再生できない。	視聴制限がかかっている。	視聴制限を解除、またはレベルを変更してください。⇒『ユーザーズガイド』(ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書のP11をご覧ください。)
音声言語、字幕言語が切り換えられない。	複数の言語が収録されていないDVDを再生している。	複数の言語が収録されていないDVDでは、切り換えられません。
	ディスクメニューでしか切り換えできないように制限されている。	ディスクメニューで切り換えてください。
初期設定で選んだ音声言語、字幕言語にならない。	初期設定で選んだ言語が収録されていないDVDを再生している。	初期設定で選んだ言語が収録されていないDVDでは、選んだ言語には切り換わりません。
アングルを切り換えて見るのができない。	複数のアングルが収録されていないDVDを再生している。	複数のアングルが収録されていないDVDでは、切り換えられません。
	複数のアングルが収録されていない場合で操作している。	複数のアングルが収録されている場合で、操作してください。
ディスク再生中に映像が乱れる。または暗い。	ディスクコピー禁止信号が入っている。(ディスクによって入っている場合がある。)	アナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しているため、コピー禁止信号が入っているディスクを再生した場合、一部のモニターでは横縞が入るなどの症状が出る場合があります。(故障ではありません。)
Ⓞ(禁止マーク)が画面に出て操作できない。	ディスクが禁止している操作である。	この操作はできません。
	ディスクの構造上対応できない操作をしている。	この操作はできません。
画面が止まり、操作を受け付けられない。	ディスク再生中にデータを読み取れなくなった。	□にタッチしてから、もう一度再生してください。

困ったときは

## CD、ROM (WMA/MP3/AAC)

症状	原因	処置
CD-RやCD-RW、CD-ROMを再生できない。	ディスクがファイナライズされていない。	ディスクをファイナライズしてください。
WMA/MP3/AACファイルを再生できない。	WMAファイルに「.wma」、MP3ファイルに「.mp3」、AACファイルに「.m4a」の拡張子が付いていない。	WMAファイルに拡張子「.wma」、MP3ファイルに拡張子「.mp3」、AACファイルに拡張子「.m4a」の付いたディスクに交換してください。
	対応していないビットレートで記録されている。	対応しているビットレートで記録されたWMA/MP3/AACファイルにしてください。
	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されていない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されたディスクに交換してください。
WMA/MP3/AACファイル再生中に大きな雑音が出る。	ファイルの形式と拡張子があっていない。	ディスクを交換してください(WMA形式でないファイルに「.wma」、MP3形式でないファイルに「.mp3」、AAC形式でないファイルに「.m4a」の拡張子を付けたCD-ROMを再生しないでください。)
聴きたいWMA/MP3/AACファイルが見つからない。	WMAファイルに「.wma」、MP3ファイルに「.mp3」、AACファイルに「.m4a」の拡張子が付いていない。	WMAファイルに拡張子「.wma」、MP3ファイルに拡張子「.mp3」、AACファイルに拡張子「.m4a」の付いたディスクに交換してください。

症状	原因	処置
フォルダー名やファイル名が正しく表示されない。	IS09660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されていない。	IS09660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されたディスクに交換してください。
WMA/MP3/AACファイル再生が、記録した順と異なる。	WMA/MP3/AACファイルは、記録したときの順番どおりに再生されない場合がある。	ライティングソフトウェアによっては、フォルダー名、ファイル名のはじめに数字（01、02など）を付けることにより、再生順を指定できる場合があります。

## ワンセグテレビ

症状	原因	処置
画面が止まっている。 画面がカクカクして映る、コマ落ちしている。 画面に正方形のノイズが映る。	受信状態が悪くなった場合などは、そのような症状になります。これらは地上デジタル放送特有の現象で、故障ではありません。	受信状態の安定した場所に移動して視聴してください。
受信できない。 「受信できません」というメッセージが表示される。	チャンネルスキャンをしていない。	初めて使うときや「視聴者設定クリア」をしたときは、チャンネルスキャンをしてください。 →P18の「テレビを見るための準備をしよう」
	移動により、受信中のチャンネル電波が弱くなった。	他の中継局（チャンネル）に切り換えてください。エリアプリセットで受信中は、受信可能な中継局を自動的に探して切り換えることができます。→『ユーズーズガイド』（ユーズーズガイドの閲覧方法については、本書のP11をご覧ください。）
	放送局（チャンネル）が増えたり、他のエリアに移動して受信環境が変わった。	受信環境が変わったときは、チャンネルスキャンをしてください。→P18の「テレビを見るための準備をしよう」
	受信レベルが低下して、放送が受信できない。	受信状態の安定した場所に移動して視聴してください。
	車両に電波シールドガラスが使われている。	外付けの地上デジタルテレビ用アンテナを使用してください。
メッセージが表示され、視聴ができません。	本機が対応しない放送を視聴しようとしている。	以下の放送には対応していません。 ・番組単位で購入できる有料放送（ペイ・パー・ビュー） ・双方向通信を使うデータ放送 対応している放送に切り換えてください。

## SD/USB

症状	原因	処置
WMA/MP3/AAC/WAVファイルを再生できない。	WMAファイルに「.wma」、MP3ファイルに「.mp3」、AACファイルに「.m4a」、WAVファイルに「.wav」の拡張子が付いていない。	WMAファイルに拡張子「.wma」、MP3ファイルに拡張子「.mp3」、AACファイルに拡張子「.m4a」、WAVファイルに拡張子「.wav」を付けてください。
	対応していないビットレートで記録されている。	対応しているビットレートで記録されたWMA/MP3/AAC/WAVファイルにしてください。
聴きたいWMA/MP3/AAC/WAVファイルが見つからない。	WMAファイルに「.wma」、MP3ファイルに「.mp3」、AACファイルに「.m4a」、WAVファイルに「.wav」の拡張子が付いていない。	WMAファイルに拡張子「.wma」、MP3ファイルに拡張子「.mp3」、AACファイルに拡張子「.m4a」、WAVファイルに拡張子「.wav」を付けてください。
	SDカード内に保存されたWMA/MP3/AAC/WAVファイルの位置が正しくない。	SDカード内の正しい位置に移動させてください。→P69の「SDカードに関するご注意」
SDカードに保存した映像ファイルを再生すると、音声は出ますが、映像が見えない。	走行中である。	走行中は、映像を見ることはできません。音声のみでお楽しみください。
SDカードに保存したファイルを再生中にAVソースがOFFになる。	地図データ（差分情報のみ）の更新中である。	地図データ（差分情報）更新中は、AVソースがOFFになります。地図データ（差分情報のみ）の更新完了後、再度AVソースを選択し、再生を再開してください。

症状	原因	処置
お持ちのパソコンで認識しているSDカードが、本機で認識しない。	SDカードが正しくフォーマットされていない。	専用フォーマットソフトを使用し、フォーマットしてください。フォーマットをすると、SDカードに記録されたデータがすべて消去されます。必ずデータのバックアップを行ってください。フォーマットソフトは、SDアソシエーションの、以下のホームページから入手できます。 URL: <a href="https://www.sdcard.org/jp/">https://www.sdcard.org/jp/</a>

iPod		
症状	原因	処置
接続できない。	iPod用接続ケーブル(別売)が正しく接続されていない。 お使いのiPodが本機に対応していない。	接続ケーブルが正しく接続されているかご確認ください。⇒『取付説明書』 対応iPodについては、カロツェリアホームページ ( <a href="https://jpn.pioneer/ja/carrozzeria/">https://jpn.pioneer/ja/carrozzeria/</a> ) でご確認ください。
ビデオが再生できない。	接続しているiPodがビデオ機能に対応していない。 接続したiPodとの認証に失敗した。	ビデオ機能に対応したiPodでないと、ビデオはご覧になれません。 再度、接続して認証を行ってください。

困ったときは

## エラーメッセージと対処方法

共通項目		
メッセージ	原因	処置
走行中は操作できません。	走行規制のかかった操作を行おうとした。	車を安全な場所に停車してから操作してください。また、簡易ハイブリッド方式で使用中はパーキングブレーキをかけてから操作してください。
ロック解除に失敗しました。	パスワードが間違っている可能性があります。	パスワードを再確認して、もう一度操作してください。
スピーカーの配線、または本機に異常を検出しました。本機の電源を入れ直しても復帰しない場合は、お買い上げの販売店またはパイオニア修理受付窓口にご相談ください。	スピーカーの接続状態または本機に異常があり、保護回路が動作した。	スピーカーの接続状態をご確認ください。エンジンスイッチをOFF→ONしてもメッセージが消えない場合は、販売店またはパイオニア修理受付窓口にご相談ください。

### ナビゲーション

メッセージ	原因	処置
探索できませんでした。	目的地または出発地の場所が適切ではない。	目的地または出発地の位置を変えてください。
付近にルート探索対象道路がありません。		
行き先が遠すぎるため、探索できませんでした。		
通行規制により、通行できない区間があるため探索できませんでした。		
行き先につながる道路が見つからないため探索できませんでした。		
行き先または出発地付近にルート探索対象道路がないため探索できませんでした。		
日時データがないため、このルートは時間規制や渋滞予測情報を考慮していません。	GPS衛星からの電波が受信できていない。	本機の日時データはGPS衛星からのデータに基づいています。GPS衛星からの電波を受信しやすい環境に移動してください。→「ユーザーズガイド」(ユーザーズガイドの閲覧方法は、本書のP11をご覧ください。)
自車位置修正できませんでした。	自車位置を修正できる道路が周囲に見つからない。	周囲に自車位置修正可能な道路(一般道路と有料道路が並行しているような道路)を走行時に操作してください。

### 渋滞情報

メッセージ	原因	処置
スマートループ渋滞情報が取得できませんでした。	スマートループ渋滞情報を取得できていない。	時間や場所をずらしてから、再度受信してください。

### 通信

メッセージ	原因	処置
回線の接続に失敗しました。	何らかの原因で回線接続に失敗している。	しばらくしてから再度操作するか、本機を再起動してください。
サーバーへの接続に失敗しました。	何らかの原因により通信接続を切断(タイムアウト)した。	
データ通信タイムアウトが発生しました。		
データ通信エラーが発生しました。		
通信機器が接続されていません。	通信モジュールが接続されていない。	通信モジュールを接続してください。

メッセージ	原因	処置
通信機器が使用できません。	接続中の通信機器が故障している可能性がある。	他の通信機能が利用可能かお試しください。他の通信機能も利用できない場合は、通信機器を変更するか、修理してください。

## SD カード

メッセージ	原因	処置
このSDカードは本機では使用できません。	本機で使用できないSDカードを挿入した。	本機が対応するSDカードをご確認ください。 →P70の「仕様」
	SDカードが正しくフォーマットされていない。	専用フォーマットソフトを使用し、フォーマットしてください。フォーマットをする と、SDカードに記録されたデータがすべて 消去されます。必ずデータのバックアップを 行ってください。フォーマットソフトは、SD アソシエーションの、以下のホームページか ら入手できます。 URL: <a href="https://www.sdcard.org/jp/">https://www.sdcard.org/jp/</a>

## USB

メッセージ	原因	処置
このUSBメモリーは本機では使用できません。	本機で使用できないUSBメモリーを接続した。	本機が対応するUSBメモリーをご確認ください。 →P70の「仕様」

## 音楽ディスク

メッセージ	原因	処置
高温、または低温のため、再生できません。 ディスクを取り出してください。	本機の内部温度が高い、または低い。	ディスクを取り出し、内部温度が正常になる までお待ちください。改善されない場合は、 販売店またはバイオニアカスタマーサポート センターにご相談ください。
・再生できないディスクです。 ・再生できません。 ・ディスクを取り出してください。	本機で再生できないディスクを使用している。	本機で再生できるディスクに交換してくだ さい。⇒『ユーザーズガイド』(ユーザーズガイド の閲覧方法は、本書のP11をご覧ください。)
	ディスクが極端に汚れている。 ディスクにキズやそりがある。 ディスクの表裏が逆になっている。	ディスクに汚れやキズ・そりがないか確認し てください。 ディスクのレーベル面を上にして、セットし てください。

## 映像ディスク

メッセージ	原因	処置
高温、または低温のため、再生できません。 ディスクを取り出してください。	本機の内部温度が高い、または低い。	ディスクを取り出し、内部温度が正常になる までお待ちください。改善されない場合は、 販売店またはバイオニアカスタマーサポート センターにご相談ください。
リージョンコードが違います。	本機のリージョン番号と異なる ディスクを挿入した。	本機のリージョン番号は“2”です。ディスク のパッケージなどでリージョンコード“2”を 含むディスクに交換してください。⇒『ユー ザーズガイド』(ユーザーズガイドの閲覧方法 は、本書のP11をご覧ください。)
・再生できないディスクです。 ・再生できません。 ・ディスクを取り出してください。	本機で再生できないディスクを使用している。	本機で再生できるディスクに交換してくだ さい。⇒『ユーザーズガイド』(ユーザーズガイド の閲覧方法は、本書のP11をご覧ください。)
	ディスクが極端に汚れている。 ディスクにキズやそりがある。 ディスクの表裏が逆になっている。	ディスクに汚れやキズ・そりがないか確認し てください。 ディスクのレーベル面を上にして、セットし てください。

困ったときは

## iPod

メッセージ	原因	処置
iPodの接続に失敗しました。接続し直してください。	何らかの原因で本機とiPodの間の認証が失敗した可能性がある。	エンジンスイッチをOFF/ONし、一度iPodを本機から取り外し、iPodが問題なく動作していることを確認してから再接続してください。

## ワンセグテレビ

メッセージ	原因	処置
DTVで高温を検出しました。保護のため停止中です。	内部温度が高くなった。	正常に動作する温度になるまでお待ちください。改善されないときは、設置場所に問題がないか確認してください。
サービスが登録されていません。電波状況の良い場所でスキャンをしてください。	サービスが登録されていない。	電波状況の良い場所で、チャンネルスキャンを行ってください。⇒『ユーザーズガイド』（ユーザーズガイドの閲覧方法は、本書のP11をご覧ください。）
受信できません（EC22）	電波状態が悪いなどにより、番組を視聴できない。	電波状態の良い場所に移動してから、選局し直してください。
受信できません（EC23）	放送されたデータが正しくないため、番組を視聴できない。	ご覧の放送局へお問い合わせください。その際、「エラーコード：EC23」をお伝えいただくとスムーズです。
アンテナ接続エラーの可能性が あります。	地上デジタルTVのアンテナに不具合がある。	地上デジタルTVのアンテナ接続が正しく行われているか確認してください。⇒『ユーザーズガイド』（ユーザーズガイドの閲覧方法は、本書のP11をご覧ください。）

## SD/USB

メッセージ	原因	処置
再生できませんでした。	本機で再生できないファイル形式のデータを再生しようとしている。	本機で再生可能なファイル形式のデータで再生してください。→P48の「再生できるファイルとメディアの種類」

## 本体リセットのしかた

次のようなときは、本機をリセットしてください。

- 正しく動作しないとき
- 画面が正しく表示されないとき

### メモ

- 本体リセットを行っても、本機に登録されている内容や設定は消えません。

## 1 **△**と**現在地**を2秒以上同時に押す

▼  
本機が再起動します。

## 取り扱い上のご注意

### 液晶画面の正しい使いかた

#### ■取り扱い上のご注意

- 市販の液晶保護フィルムを貼ると、タッチパネルでの操作に支障が出る場合があります。
- 液晶画面は指定温度範囲内でお使いください。  
→P70の「仕様」
- 直射日光の当たる状態で長時間使用すると、高温になり、液晶画面が故障する恐れがあります。できる限り直射日光が当たらないようにしてください。
- 液晶画面は、車内での視認性向上のためにむき出しになっています。故障する恐れがありますので、液晶画面を強く押さないでください。
- キズや汚れの原因になりますので、液晶画面に触れるときは、必ず指先で触れてください。
- 携帯電話をお使いになるときは、携帯電話のアンテナを液晶画面に近づけないでください。画面に斑点や色模様などのノイズが出たり、映像が乱れたりすることがあります。

#### ■液晶画面について

- 液晶画面の中に小さな黒い点や明るく光る点（輝点）が出る場合があります。これは、液晶画面特有の現象で故障ではありません。
- 液晶画面に直射日光が当たると、光が反射し画面が見づらくなりますので、直射日光をさえぎってください。

#### ■LEDバックライトについて

- 周辺温度が低い状況でお使いになる場合は、液晶の特性上残像が目立ちやすくなり画質が劣化することがあります。周辺温度が高まれば通常画質に戻ります。
- 真夏の炎天下や、エアコンの温風が直接モニター部に当たってモニター部が高温状態になると、LED保護のため、自動的にバックライトの明るさを絞る場合があります。
- LEDバックライトの寿命は1万時間以上ですが、高温下でお使いになると寿命が短くなる場合があります。
- LEDバックライトが寿命になると、画面が暗くなったり、映像が映らなくなったりします。このときはお買い上げの販売店または修理受付窓口にご連絡ください。

#### ■お手入れについて

- 液晶画面に付いたほこりや液晶画面の汚れを清掃するときは、電源を切ってから、柔らかいきれいな布でから拭きしてください。
- 液晶画面を拭くときは、ツメで引っかかないように注意してください。画面にキズが付くと映像が見づらくなります。
- 濡れたぞうきんや化学ぞうきんは使用しないでください。また、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。

## ディスクの正しい使いかた

### ■取り扱い上のご注意

- ディスクは、信号記録面(虹色に光っている面)を触らないように持ってください。
- ディスクにキズを付けないでください。
- ディスクにシールなどを貼らないでください。
- ディスクに市販のラベルなどを貼り付けないでください。  
— ディスクにそりが生じて、再生できなくなる原因になります。  
— 再生中にラベルがはがれると、ディスクが取り出せなくなり、本機の故障の原因になります。
- ディスクの取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。
- レーベル面に印刷ができるディスクを使用するときは、ディスクの説明書や注意書きを確認してください。ディスクによっては、挿入または取り出しができないものがあります。そのようなディスクを使用すると、本機の故障の原因になります。

### ◆メモ

- 製品設計上配慮していますが、機構上あるいは使用環境・ディスクの取り扱いなどにより、ディスク面に実用上支障のない程度のキズが付くことがあります。これは、製品の故障ではありません。一般的な消耗としてご理解ください。

### ■お手入れについて

- ディスクが汚れたときは、柔らかいきれいな布でディスクの内周から外周方向へ軽く拭いてください。



- アナログ式レコード用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。

### ■保管上のご注意

- 直射日光の当たるところや高温になるところには、ディスクを保管しないでください。  
— 直射日光や高温など、車内での保管状況により、ディスクは再生できなくなる場合があります。
- ディスクがそらないように、必ずケースに入れて保管してください。

### ■ディスク再生の環境について

- 走行中、振動のショックで音飛びを起こすことがあります。
- 寒いとき、ヒーターを入れた直後にディスク再生を始めると、本機内部の光学系レンズやディスクに露が付いて、正常な再生ができないことがあります。このようなときは、1時間ほど放置して自然に露が取れるまでお待ちください。ディスクに付いた露は柔らかい布で拭いてください。
- 高温になると保護機能が働き、ディスク再生が停止します。

### ■使用できないディスクについて

- 以下のようなディスクは使用しないでください。ディスクによっては、挿入または取り出しができないものがあります。そのようなディスクを使用すると、本機の故障の原因になります。表紙に記載されているマークが付いたディスクをお使いください。マークは、ディスクのレーベル面やパッケージ、またはジャケットに記録されています。
  - DualDisc
  - 8 cmディスク(アダプター装着時も含む)
  - CD規格外ディスク
  - ひび、キズ、そりのあるCD



— 特殊形状のディスク



— シールなどを貼ったディスク



### ■再生できないディスクについて

- 以下のようなディスクは、再生できないことがあります。
  - 音楽用CDレコーダーまたはパソコンで記録したディスク
  - ファイナライズされていないディスク
  - パケットライトで記録されたディスク
  - ハイビジョン画質(AVCHD/AVCREC規格)で記録されたディスク
  - NTSC(日本のテレビ方式)以外の方式で記録されたDVD
  - リージョン番号が「2」や「ALL」以外のDVD
  - レイヤージャンプレコーディング方式で記録されたDVD
  - DVD-ROM/RAMディスク
  - ISO9660のレベル1、レベル2、および拡張フォーマット(Joliet、Romeo)に準拠していないCD-R/RW/ROMディスク
  - UDF1.02およびISO9660のレベル1、レベル2に準拠していないDVD-R/RW/ROMディスク

### ■DVDに表示されているマークの意味

DVDビデオディスクのレーベル面やパッケージには、以下のようなマークが表示されています。それぞれのマークは、そのディスクに記録されている映像または音声のタイプ、使える機能を表しています。

マーク	意味
	音声の数を表します。
	字幕の数を表します。
	アングルの数を表します。
	画面サイズ(アスペクト比:横と縦の比率)の種類を表します。



再生可能な地域番号（リージョン番号）を表します。本機のリージョン番号は、「2」です。リージョン番号が「2」や「ALL」など「2」を含んでいるディスクを再生できます。

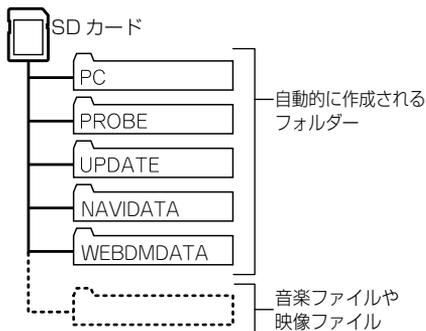
## ■DVD-VRについて

以下のロゴは、本機がビデオレコーディングフォーマット（VRモード）で記録されたDVD-R/RWディスクの再生に対応していることを示しています。

**RW**  
COMPATIBLE

## ■SDカードに関するご注意

- 本機またはナビスタジオで使用したSDカードには、以下のフォルダーが自動的に作成される場合があります。



上記のフォルダーの内容は変更しないでください。SDカードに音楽ファイルや映像ファイルを保存して本機で再生する場合は、上記のフォルダー以外に保存してください。

## ■USB機器に関するご注意

- USB機器の取り扱いについて詳しくは、それぞれの説明書をお読みください。
- 本機との組み合わせで使用時に携帯デジタルプレーヤーやUSBメモリーのデータなどが消失した場合でも、その補償については責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本機と組み合わせて使用する場合、USB機器は必ず固定してください。USB機器が落下して、プレーキペダルやアクセルペダルの下に滑り込むと大変危険です。

## ■本機との接続について

- USBメモリー、USBオーディオプレーヤー以外（USB扇風機など）は接続しないでください。
- USB機器を本機に接続する際は、指定のUSB接続ケーブル以外は、使用しないでください。
- 接続するUSB機器によっては、ラジオにノイズの影響を与えることがあります。
- USBハブを使用している接続には対応していません。

## ■保管上のご注意

- USB機器を直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障する恐れがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。

## iPod に関するご注意

### ■取り扱い上のご注意

- iPodを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障するおそれがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。
- 本機と組み合わせて使用する場合、iPodは必ず固定してください。iPodが落下して、プレーキペダルやアクセルペダルの下に滑り込むと大変危険です。

### ■著作権について

iPodは、著作権のないマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。

## 保証書とアフターサービス

### 保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめの上、ご購入の際に販売店より受け取ってください。保証書に記入漏れがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

### 保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

### 修理について

本機は持ち込み商品のため出張修理は承っておりません。引き取り修理サービスをご利用ください。(お車から取り外していただいた状態での引き取りとなります。また送料はおお客様ご負担となります。)

#### ■保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店または修理受付窓口にご連絡ください。連絡先については、裏表紙の「修理窓口のご案内」をご覧ください。

#### ■保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店または修理受付窓口にご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

#### ■車からの脱着(お取り外し・お取り付け)について

弊社修理拠点へのお持ち込みは、製品をお車から取り外した状態で、承ります。なお、修理・点検時における本製品のお車からの脱着費用の負担、及び脱着作業は承っておりません(保証期間内含む)。販売店、または取付店にご相談ください。

### 補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

ただし、各種通信機能および関連サービス、他社サービスを利用している機能については通信網等の状況により最低6年間保持できない場合があります。

### ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

## 仕様

### 共通部

使用電圧：.....DC14.4 V  
(10.8 V ~ 15.1 V 使用可能)  
最大消費電流：.....10 A  
アース方式：.....マイナスアース方式  
使用温度範囲：.....-10 °C ~ +60 °C

### GPS部

受信方式：.....12チャンネルマルチチャンネル受信方式

### オーディオ部

最大出力：.....50 W × 4  
負荷インピーダンス：.....4 Ω (4 Ω ~ 8 Ω 使用可能)

プリアウト最大出力レベル：2.2 V

13バンドグラフィックイコライザー：

周波数：.....50 Hz/80 Hz/125 Hz/  
200 Hz/315 Hz/  
500 Hz/800 Hz/  
1.25 kHz/2 kHz/  
3.15 kHz/5 kHz/  
8 kHz/12.5 kHz

調整幅：.....±12 dB (2 dB/step)

スピーカーセッティング：

調整幅：.....-24dB~+10dB(1dB/step)

カットオフ周波数：

ハイパスフィルター：50 Hz/63 Hz/80 Hz/  
100 Hz/125 Hz

ローパスフィルター (サブウーファー)：

50 Hz/63 Hz/80 Hz/  
100 Hz/125 Hz/  
160 Hz/200 Hz

カットオフスロープ：

フロント、リア：.....-12 dB固定/OFF

サブウーファー：.....-18 dB固定

サブウーファー位相：.....ノーマル/リバース

タイムアライメント：.....0 cm~350 cm  
(2.5cm/step)

デコーダー：.....リアPCM、ドルビーデジ  
タル、MPEG-2 AAC

### 外部入出力

【RCA/AUX部】

映像入出力レベル (リアモニターOUT)：1.0 Vpp  
±10 % (signal : White  
100 %)

外部音声最大入力レベル (AUX)：1.0 Vrms以下

### DVD プレーヤー部

リージョンNo.：.....2

対応メディア：.....DVD (VIDEO MODE、  
VR MODE)、DVD-R  
(DL)、DVD-RW、  
CD-ROM、CD-DA、  
CD-R/RW

デコーディングフォーマット：

MP3：.....MPEG-1,2,2.5 AUDIO  
LAYER-3

WMA：.....Ver.7.8.9 (2 ch audio)

AAC：.....MPEG-4 AAC

(Ver.10.01.22 以前のiTunesで  
エンコードされたもののみ)

周波数特性：  
(DVD値)：.....16 Hz～22 000 Hz  
(±1 dB)  
(CD値)：.....20 Hz～20 000 Hz  
(+0.1 dB/ -1.0 dB)

S/N：  
(DVD値)：.....100 dB (1 kHz)  
(IHF-Aネットワーク)  
(CD値)：.....100 dB (1 kHz)  
(IHF-Aネットワーク)

ダイナミックレンジ：  
(DVD値)：.....94 dB (1 kHz)  
(CD値)：.....94 dB (1 kHz)  
高調波歪率：.....0.007 % (1 kHz)

## FM チューナー部

受信周波数帯域：.....76.0 MHz～99.0 MHz  
音声：.....ステレオ

## AM チューナー部

受信周波数帯域：.....522 kHz～1 629 kHz  
(9 kHz)  
音声：.....モノラル

## ワンセグチューナー部

放送方式：.....地上デジタル放送方式  
受信チャンネル：.....470 MHz～710 MHz  
(UHF13 ch～52 ch)

## モニター部

画面サイズ：.....7 V 型ワイドVGA  
画素数：.....1 152 000 画素  
[水平800×垂直480×  
3 (RGB) ]  
方式：.....TFT アクティブマトリクス方式  
バックライト：.....LED 光源

## 地上デジタルTV (ワンセグ用) フィルムアンテナ

使用電源：.....DC8 V  
出力端子：.....1系統 (専用プラグ)

## SDカード部

フォーマット：.....Ver.3.0  
最大メモリ容量：.....128 GB (SDXC使用時)  
ファイルシステム：.....FAT16/FAT32/  
exFAT (SDXC使用時)

デコーディングフォーマット：  
MP3：.....MPEG-1,2,2.5 AUDIO  
LAYER-3  
WMA：.....Ver.7,8,9 (2 ch audio)  
AAC：.....MPEG-4 AAC  
(Ver.10.01.22以前の  
iTunesでエンコードされた  
もののみ)

MPEG4 (MP4)：.....MPEG-4 Video + AAC,  
H.264/AVC + AAC  
AVI：.....MPEG-4 Video + MP3  
WMV：.....WMV (VC-1) + WMA

シグナルフォーマット：  
WAV：.....LPCM

## USB部

対応メディア：.....USB2.0 High Speed  
最大電流：.....1 A  
最大メモリ容量：.....16 GB  
ファイルシステム：.....FAT16/FAT32  
デコーディングフォーマット：

MP3：.....MPEG-1,2,2.5 AUDIO  
LAYER-3  
WMA：.....Ver.7,8,9 (2 ch audio)  
AAC：.....MPEG-4 AAC  
(Ver.10.01.22 以前の  
iTunesでエンコードされた  
もののみ)

シグナルフォーマット：

WAV：.....LPCM  
USB CLASS：.....MSC (MASS STORAGE  
CLASS)

## 外形寸法

本体取付寸法：.....206 (W) mm ×  
104 (H) mm ×  
160 (D) mm  
.....<AVIC-FW303II>  
.....178 (W) mm ×  
100 (H) mm ×  
164 (D) mm  
.....<AVIC-FZ303II>

本体ノーズ寸法：.....197 (W) mm ×  
97 (H) mm ×  
15 (D) mm  
.....<AVIC-FW303II>  
.....171 (W) mm ×  
97 (H) mm ×  
19 (D) mm  
.....<AVIC-FZ303II>

GPS アンテナ：.....33 (W) mm ×  
36 (H) mm ×  
14 (D) mm

地上デジタルTVフィルムアンテナ：  
.....118 (W) mm ×  
86 (H) mm ×  
0.3 (D) mm

## 質量

本体：.....2.1 kg

## 付属品

GPS アンテナ：.....1 ※  
地上デジタルTV (ワンセグ用) フィルムアンテナ：一式※  
取付用ネジ類：.....一式※  
コード類：.....一式※  
.....<AVIC-RZ303II>

取扱説明書：.....1  
取付説明書：.....1  
保証書：.....1

※ 接続・取り付け部品の詳細につきましては、「取付説明書」をご覧ください。

## メモ

- 本書に記載している寸法・重量などは、実際の製品と異なる場合があります。実際の製品の仕様は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。

# VICS情報有料放送サービス契約約款

## ■第1章 総則

(約款の適用)

### 第1条

一般財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和25年法律第132号）第147条の規定に基づき、このVICS情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これによりVICS情報有料放送サービスを提供します。

(約款の変更)

### 第2条

当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICS情報有料放送サービス契約約款によります。

(用語の定義)

### 第3条

この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

#### (1) VICSサービス

当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス

#### (2) VICSサービス契約

当センターからVICSサービスの提供を受けるための契約

#### (3) 加入者

当センターとVICSサービス契約を締結した者

#### (4) VICSデスクランブラー

FM多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

## ■第2章 サービスの種類等

(VICSサービスの種類)

### 第4条

VICSサービスには、次の種類があります。

#### (1) 文字表示型サービス

文字により道路交通情報を表示する形態のサービス

#### (2) 簡易図形表示型サービス

簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス

#### (3) 地図重畳型サービス

車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

(VICSサービスの提供時間)

### 第5条

当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上のVICSサービスを提供します。

## ■第3章 契約

(契約の単位)

### 第6条

当センターは、VICSデスクランブラー1台毎に1のVICSサービス契約を締結します。

(サービスの提供区域)

### 第7条

VICSサービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域（全都道府県の区域で概ねNHK-FM放送を受信することができる範囲内）とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況によりVICSサービスを利用することができない場合があります。

(契約の成立等)

### 第8条

VICSサービスは、VICS対応FM受信機（VICSデスクランブラーが組み込まれたFM受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

(VICSサービスの種類の変更)

### 第9条

加入者は、VICSサービスの種類に対応したVICS対応FM受信機を購入することにより、第4条に示すVICSサービスの種類の変更を行うことができます。

(契約上の地位の譲渡又は承継)

### 第10条

加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

(加入者が行う契約の解除)

### 第11条

当センターは、次の場合には加入者がVICSサービス契約を解除したものとみなします。

(1) 加入者がVICSデスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき

(2) 加入者の所有するVICSデスクランブラーの使用が不可能となったとき

(当センターが行う契約の解除)

### 第12条

1 当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICSサービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICSサービス契約は、解除されたものと見なされます。

2 第11条又は第12条の規定により、VICSサービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICSサービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

## ■第4章 料金

(料金の支払い義務)

### 第13条

加入者は、当センターが提供するVICSサービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

## ■第5章 保守

(当センターの保守管理責任)

### 第14条

当センターは、当センターが提供するVICSサービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

(利用の中止)

### 第15条

1 当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICSサービスの利用を中止することがあります。

2 当センターは、前項の規定によりVICSサービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

## ■第6章 雑則

(利用に係る加入者の義務)

### 第16条

加入者は、当センターが提供するVICSサービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

(免責)

## 第17条

1 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由によりVICSサービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICSサービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。ただし、当センターは当該変更においても変更後3年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICSサービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

2 VICSサービスは、FM放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機によるVICSサービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、VICSサービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

## ■別表 視聴料金

視聴料金：300円(税抜き)

ただし、車載機購入価格に含まれております。

## 商標・著作権など

- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Dolby Audio及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。



- 本機は、ロヴィコーポレーションの米国特許および他の知的所有権によって保護された、著作権保護技術を搭載しています。解析や改造は禁止されていますので行わないでください。
- Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国および/またはその他の国における登録商標または商標です。
- 本製品は、米国 Microsoft Corporation が所有する技術を使用しています。また、米国 Microsoft Licensing Inc. の許可を得ずに使用または頒布できません。
- Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Intel および Pentium は、米国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。
- Macintosh および iTunes は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- iPhone、iPod、iPod classic、iPod nano、iPod touch、および Lightning は米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。iPhone の商標は、アイホン株式会社のライセンスのもとで使用されています。

付録

Made for

Apple iPhone | iPod

- Made for Apple マークの使用に関して、パッケージ内に記してあるアップル製品に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定されたアクセサリであることを示します。  
アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。  
このアクセサリをアップル製品と使用することにより、無線の性能に影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。
- Android、Google Play は Google LLC の商標です。
- 「VICS」および「VICS WIDE」は、一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。



- SDXC ロゴは SD-3C LLC の商標です。



-  はDVDフォーマットロゴライセンスング(株)の商標です。



- 「ATOK」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。
- 「マップクリップ」はインクリメントP(株)の登録商標です。
- QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。
- 本製品に収録されたデータ及びプログラムの著作権は、弊社及び弊社に対し著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属しております。お客様は、別途規定されている場合を除いて、いかなる形式においてもこれらのデータ及びプログラムの全部または一部を複製、改変、解析などすることはできません。

- この製品に含まれるブラウザの改変及び複製、この製品から分離させる行為は、行ってはけません。
- This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

- Entier(エンティア)は、株式会社日立製作所の日本国及びその他の国における商標です。

- 1 最終需要家は、特定の1台の装置にのみ添付ソフト複製物を複製できるものとします。
- 2 最終需要家は、添付ソフト複製物の全部又は一部を第三者に対し、有償であると無償であることを問わず、譲渡、使用許諾その他の方法で使用させてはならないものとします。
- 3 最終需要家は、添付ソフト複製物の全部又は一部を逆アSEMBL若しくは逆コンパイル又は改変することはできないものとします。
- 4 最終需要家は、第1項に定める場合を除き、添付ソフト複製物の全部若しくは一部を複製し、又は他のプログラムと結合してはならないものとします。
- 5 最終需要家が添付ソフト複製物の全部若しくは一部を単独で又は他の製品と組み合わせ、直接又は間接に次の各号のいずれかに該当する取扱いをする場合、最終需要家は、「外国為替及び外国貿易法」の規制及び米国輸出管理規則等外国の輸出関連法規を確認の上、必要な手続きをとるものとします。
  - (1)輸出するとき。
  - (2)海外へ持ち出すとき。
  - (3)非居住者へ提供し、又は使用させるとき。
  - (4)前3号に定めるほか、「外国為替及び外国貿易法」又は外国の輸出関連法規に定めがあるとき。

注1： 上記の「最終需要家許諾条項に記載すべき事項」の内容については、第5条第3項及び第4項の場合には本別紙中「添付ソフト複製物」とあるのを「本件装置用組込用ランタイム」に、第6条第2項の場合には本別紙中「添付ソフト複製物」とあるのを「結合添付ソフトウェア」にそれぞれ読み替えるものとします。

注2： 第6条第1項第3号又は同条第2項第2号の規定に基づき添付ソフト改良版に係る最終需要家許諾条項を本別紙に従い甲が作成する場合、本別紙中「添付ソフト複製物」とあるのを「添付ソフト改良版」と読み替えるものとします。

- 記載の社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。
- お客様が録音(録画)したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

- 弊社は、本製品に収録された地図データなどが完全・正確であること、及び本製品がお客様の特定目的へ適合することを保証するものではありません。
- 本機は日本国内専用です。GPSの測位範囲が異なる外国ではご利用頂けません。
- 本製品の仕様及び外観は、改善のため予告なく変更する場合があります。また、取扱説明書の内容と実物が異なる場合があります。その場合における本製品の改造、またはお取り換えのご要望には応じかねます。

#### ● bsdiff

Copyright 2003-2005 Colin Percival  
All rights reserved

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted providing that the following conditions are met:

- 1 Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- 2 Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

#### ● FreeType

Portions of the software in this product are copyright 1996 - 2009 The FreeType Project (www.freetype.org). All rights reserved.  
Licensed under the FreeType Project LICENSE, 2006-Jan-27. (<http://git.savannah.gnu.org/cgi/freetype/freetype2.git/plain/docs/FTL.TXT>)

#### ● giflib

The GIFLIB distribution is Copyright (c) 1997 Eric S. Raymond

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

#### ● libjpeg

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

## ● libmng

### COPYRIGHT NOTICE:

Copyright (c) 2000-2007 Gerard Juyn (gerard@libmng.com)

For the purposes of this copyright and license, "Contributing Authors" is defined as the following set of individuals:

Gerard Juyn  
Glenn Randers-Pehrson

The MNG Library is supplied "AS IS". The Contributing Authors disclaim all warranties, expressed or implied, including, without limitation, the warranties of merchantability and of fitness for any purpose. The Contributing Authors assume no liability for direct, indirect, incidental, special, exemplary, or consequential damages, which may result from the use of the MNG Library, even if advised of the possibility of such damage.

Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this source code, or portions hereof, for any purpose, without fee, subject to the following restrictions:

- 1 The origin of this source code must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software.
- 2 Altered versions must be plainly marked as such and must not be misrepresented as being the original source.
- 3 This Copyright notice may not be removed or altered from any source or altered source distribution.

The Contributing Authors specifically permit, without fee, and encourage the use of this source code as a component to supporting the MNG and JNG file format in commercial products.

If you use this source code in a product, acknowledgment would be highly appreciated.

Parts of this software have been adapted from the libpng package. Although this library supports all features from the PNG specification (as MNG descends from it) it does not require the libpng package. It does require the zlib library and optionally the IJG jpeg library, and/or the "little-cms" library by Marti Maria (depending on the inclusion of support for JNG and Full-Color-Management respectively).

This library's function is primarily to read and display MNG animations. It is not meant as a full-featured image-editing component! It does however offer creation and editing functionality at the chunk level. (future modifications may include some more support for creation and or editing)

## ● libpng

This copy of the libpng notices is provided for your convenience. In case of any discrepancy between this copy and the notices in the file png.h that is included in the libpng distribution, the latter shall prevail.

### COPYRIGHT NOTICE, DISCLAIMER, and LICENSE:

If you modify libpng you may insert additional notices immediately following this sentence.

This code is released under the libpng license.

libpng versions 1.2.6, August 15, 2004, through 1.2.41, December 3, 2009, are

Copyright (c) 2004, 2006-2009 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-1.2.5 with the following individual added to the list of Contributing Authors

Cosmin Truta

libpng versions 1.0.7, July 1, 2000, through 1.2.5 - October 3, 2002, are

Copyright (c) 2000-2002 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-1.0.6 with the following individuals added to the list of Contributing Authors

Simon-Pierre Cadieux  
Eric S. Raymond  
Gilles Vollant

and with the following additions to the disclaimer:

There is no warranty against interference with your enjoyment of the library or against infringement. There is no warranty that our efforts or the library will fulfill any of your particular purposes or needs. This library is provided with all faults, and the entire risk of satisfactory quality, performance, accuracy, and effort is with the user.

libpng versions 0.97, January 1998, through 1.0.6, March 20, 2000, are

Copyright (c) 1998, 1999 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-0.96, with the following individuals added to the list of Contributing Authors:

Tom Lane  
Glenn Randers-Pehrson  
Willem van Schaik

libpng versions 0.89, June 1996, through 0.96, May 1997, are

Copyright (c) 1996, 1997 Andreas Dilger  
Distributed according to the same disclaimer and license as libpng-0.88, with the following individuals added to the list of Contributing Authors:

John Bowler  
Kevin Bracey  
Sam Bushell  
Magnus Holmgren  
Greg Roelofs  
Tom Tanner

libpng versions 0.5, May 1995, through 0.88, January 1996, are

Copyright (c) 1995, 1996 Guy Eric Schalnat, Group 42, Inc.

For the purposes of this copyright and license, "Contributing Authors" is defined as the following set of individuals:

Andreas Dilger  
Dave Martindale  
Guy Eric Schalnat  
Paul Schmidt  
Tim Wegner

The PNG Reference Library is supplied "AS IS". The Contributing Authors and Group 42, Inc. disclaim all warranties, expressed or implied, including, without limitation, the warranties of merchantability and of fitness for any purpose. The Contributing Authors and Group 42, Inc. assume no liability for direct, indirect, incidental, special, exemplary, or consequential damages, which may result from the use of the PNG Reference Library, even if advised of the possibility of such damage.

Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this source code, or portions hereof, for any purpose, without fee, subject to the following restrictions:

- 1 The origin of this source code must not be misrepresented.
- 2 Altered versions must be plainly marked as such and must not be misrepresented as being the original source.
- 3 This Copyright notice may not be removed or altered from any source or altered source distribution.

The Contributing Authors and Group 42, Inc. specifically permit, without fee, and encourage the use of this source code as a component to supporting the PNG file format in commercial products. If you use this source code in a product, acknowledgment is not required but would be appreciated.

A "png\_get\_copyright" function is available, for convenient use in "about" boxes and the like: `printf("%s", png_get_copyright(NULL));` Also, the PNG logo (in PNG format, of course) is supplied in the files "pngbar.png" and "pngbar.jpg" (88x31) and "pngnow.png" (98x31).

Libpng is OSI Certified Open Source Software. OSI Certified Open Source is a certification mark of the Open Source Initiative.

Glenn Randers-Pehrson glennrp at users.sourceforge.net December 3, 2009

- **libxml2**

Except where otherwise noted in the source code (e.g. the files hash.c, list.c and the trio files, which are covered by a similar licence but with different Copyright notices) all the files are:

Copyright (C) 1998-2003 Daniel Veillard. All Rights Reserved.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE DANIEL VEILLARD BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of Daniel Veillard shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization from him.

hash.c: chained hash tables

Reference: Your favorite introductory book on algorithms

Copyright (C) 2000 Bjorn Reese and Daniel Veillard. Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE AUTHORS AND CONTRIBUTORS ACCEPT NO RESPONSIBILITY IN ANY CONCEIVABLE MANNER.

Author: breese@users.sourceforge.net

list.c: lists handling implementation

Copyright (C) 2000 Gary Pennington and Daniel Veillard.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE AUTHORS AND CONTRIBUTORS ACCEPT NO RESPONSIBILITY IN ANY CONCEIVABLE MANNER.

Author: Gary.Pennington@uk.sun.com

trio files

Copyright (C) 1998 Bjorn Reese and Daniel Stenberg.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION,

THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE AUTHORS AND CONTRIBUTORS ACCEPT NO RESPONSIBILITY IN ANY CONCEIVABLE MANNER.

- **MD5**

Copyright (C) 1990, RSA Data Security, Inc. All rights reserved License to copy and use this software is granted provided that it is identified as the "RSA Data Security, Inc. MD5 Message Digest Algorithm" in all material mentioning or referencing this software or this function.

License is also granted to make and use derivative works provided that such works are identified as "derived from the RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm" in all material mentioning or referencing the derived work.

RSA Data Security, Inc. makes no representations concerning either the merchantability of this software or the suitability of this software for any particular purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty of any kind. These notices must be retained in any copies of any part of this documentation and/or software.

- **OpenGLES2.0, EGL1.4**

Copyright (C) Silicon Graphics, Inc. All Rights Reserved, Licensed under SGI FREE SOFTWARE LICENSE B (Version 2.0, Sept. 18, 2008 , <http://oss.sgi.com/projects/FreeB/>)

- **PowerVR**

This product includes components of the PowerVR™ SDK from Imagination Technologies Limited

- **protobuf**

Copyright 2008, Google Inc.

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- \* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

- \* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

- \* Neither the name of Google Inc. nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Code generated by the Protocol Buffer compiler is owned by the owner of the input file used when generating it. This code is not standalone and requires a support library to be linked with it. This support library is itself covered by the above license.

- **rapidjson**

Copyright (C) 2011 Milo Yip

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify,

merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

- **SEE: Simple ECMAScript Engine**

The SEE library source is released under what is commonly called a "BSD-style" licence:

Copyright (c) 2003, 2004, 2005, 2006, 2007 David Leonard. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- 1 Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- 2 Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- 3 Neither the name of David Leonard nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The separate 'dtoa.c' file is separately licenced, thus:

The author of this software is David M. Gay.  
Copyright (c) 1991, 2000 by Lucent Technologies.  
Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose without fee is hereby granted, provided that this entire notice is included in all copies of any software which is or includes a copy or modification of this software and in all copies of the supporting documentation for such software.

THIS SOFTWARE IS BEING PROVIDED "AS IS", WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTY. IN PARTICULAR, NEITHER THE AUTHOR NOR LUCENT MAKES ANY REPRESENTATION OR WARRANTY OF ANY KIND CONCERNING THE MERCHANTABILITY OF THIS SOFTWARE OR ITS FITNESS FOR ANY PARTICULAR PURPOSE.

- **speex**

Copyright 2002-2008 Xiph.org Foundation

Copyright 2002-2008 Jean-Marc Valin

Copyright 2005-2007 Analog Devices Inc.

Copyright 2005-2008 Commonwealth Scientific and Industrial Research Organisation (CSIRO)

Copyright 1993, 2002, 2006 David Rowe

Copyright 2003 EpicGames

Copyright 1992-1994 Jutta Degener, Carsten Bormann

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

# 索引

## 五十音順

### あ

アフターサービス..... 13

### い

一時停止表示..... 42

一方通行表示..... 29

インジケーター..... 32

### う

ウェザーライブ..... 29

### え

映像出力..... 46

エコステータス..... 29

### お

オーディオ設定..... 46

オートサイレントガイド..... 44

オートリルート..... 40

音楽 CD..... 45

音楽ファイル..... 48

音声案内..... ユーザーズガイド

「ナビゲーション基本操作 - 走行中の音声案内」

音場..... 47

音量..... 23

### か

ガスタ価格情報..... 28

カスタム機能..... 24

カスタムダイレクト..... 40

冠水注意地点マーク..... 42

### き

気象情報..... 29

機能設定..... 30

### く

グラフィックイコライザー..... 47

### け

検索履歴..... ユーザーズガイド

「検索 - 登録地・検索履歴から探す」

### こ

交差点案内表示..... 43

工場出荷時 (状態)..... ユーザーズガイド

「設定 - 設定初期化」

交通情報..... 45

### さ

再探索..... 28

サイレントガイド..... 40

### し

渋滞オートガイド..... 41,44

渋滞情報..... 29,41,50

消音タイミング..... 30

消音レベル..... 30

情報メニュー..... 29

初期登録..... 50

新ルート..... 40

### す

スキャン..... 18

スケール..... 35

ステアリングリモコン設定 ユーザーズガイド  
「その他の機能 - ステアリングリモコンを設定  
する」

スピーカー出力設定..... 47

スマートループ..... 50

### せ

セキュリティロック..... 13

接続状態..... 54

設定初期化..... 18

設定・編集メニュー..... 30

セントラルメニュー..... 28

専用サーバー..... 50

### そ

操作音..... 23

ソース別設定..... 30

ソースレベルアジャスター..... 47

ゾーン 30..... 43

### た

タイムアライメント..... 47

ダイレクトスケールキー..... 35

### ち

地図スケール..... 29

地図データ..... 12

チャンネルスキャン..... 18

駐車場満空情報..... 30

駐車場履歴..... 32

### て

データ通信専用通信モジュール..... 58

デバイスナンバー..... ユーザーズガイド

「情報 - デバイスナンバーを確認する」

テレビ..... 18

### と

ドライバズビュー..... 31

ドライブプラン..... 32

ドライブレコーダー..... 45,53

ドライブレコーダーリンク..... 53

### な

ナビスタジオ..... 55

ナビスタンバイ..... 17

<b>に</b>	ニックネーム.....	19
<b>ね</b>	燃費推定.....	30
<b>の</b>	ノースアップ.....	29
<b>は</b>	バージョン情報.....	29
	ハイウェイモード.....	29
	パスワード.....	12
	バックカメラユニット.....	58
	早送り.....	45
	早戻し.....	45
	汎用バックカメラユニット.....	58
<b>ひ</b>	ビューメニュー.....	29
<b>ふ</b>	フェーダー/バランス.....	47
	フォーマット.....	13
	プレイリスト.....	49
<b>へ</b>	別道路..... ユーザーズガイド	
	「調整・補正 - 一般道または有料道へ自転車位置 を修正する」	
	ヘディングアップ.....	29
<b>ほ</b>	ポップアップメニュー.....	31
<b>ま</b>	マップクリップ.....	29
	マップチャージ.....	57
<b>も</b>	元ルート.....	40
<b>ら</b>	ラジオ.....	28,45
<b>り</b>	リアモニター.....	58
	リスニングポジション.....	47
	リセット.....	67
	履歴情報.....	14
<b>る</b>	ルートアドバイザー.....	40
	ルート情報.....	29
	ルート編集.....	30
	ルートを消去.....	41
<b>ろ</b>	ロゴマーク.....	29,42

<b>A</b>	AUX.....	45
	AVCHD.....	68
	AVCREC.....	68
	AV サイドビューアングル.....	42
	AV ソース.....	45
	AV メニュー.....	28
<b>C</b>	CD.....	28
<b>D</b>	DRM.....	48
	DualDisc.....	68
	DVD-VR.....	69
	DVD ビデオ.....	68
<b>E</b>	ETC2.0 ユニット.....	58
	ETC カード..... ユーザーズガイド	
	「その他の機器 - ETC サービスの利用」	
	ETC ユニット.....	58
	ETC 利用履歴.....	29
<b>I</b>	iPhone.....	12
	iPod.....	12
<b>M</b>	m3u.....	49
<b>N</b>	NAVI メニュー.....	28
	NTSC.....	68
<b>S</b>	SD カード.....	21
	SD カード登録確認メッセージ.....	56
	SD の初期設定..... ユーザーズガイド	
	「メモリーメディア - SD の初期設定を行う」	
<b>U</b>	USB.....	28,45,69
	USB メモリー.....	28,45,69
<b>V</b>	VICS 情報.....	29,72
	VICS 放送局選択..... ユーザーズガイド	
	「情報 - 放送局を選ぶ」	
<b>W</b>	Windows Media Player.....	49

<各窓口へのお問い合わせ時のご注意>

「0120」で始まる電話番号は、携帯電話・PHS一部のIP電話などからは、ご使用になれません。

携帯電話・PHSからは、ナビダイヤル、またはIP電話をご利用下さい。(通話料がかかります)

正確なご相談対応のために折り返しお電話をさせていただく場合がございますので発信者番号の通知にご協力いただけますようお願いいたします。

**商品についてのご相談窓口** ※番号をよくお確かめの上でおかけいただけますようお願いいたします

パイオニア商品の取り付け・組み合わせなどについては、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

●商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求について

**カスタマーサポートセンター** ※記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますのでお客様サポートサイトもご利用ください。

■お客様サポートサイト

<https://pioneer.jp/rd/support/>



■商品についてのよくあるお問い合わせ (FAQ)

<https://pioneer.jp/rd/support/faq/>



■電話

《カーオーディオ、カーナビゲーション商品》※受付時間はお客様サポートサイトでご確認ください

【固定電話から】0120-944-111 (無料)

【携帯電話・PHSから】050-3820-7540 (IP電話・有料)

または 0570-037-600 (ナビダイヤル・有料)

※カーナビゲーションの訪問宅電話番号検索機能に関する個人情報の削除などはこちらの窓口で承っております

《楽ナビ:バージョンアップ、ダウンロード、ナビスタジオ操作相談》※受付時間はお客様サポートサイトでご確認ください

【固定電話から】0120-702-383 (無料)

【携帯電話・PHSから】050-3820-7541 (IP電話・有料)

または 0570-037-601 (ナビダイヤル・有料)

■ファックス 0570-037-602 (ナビダイヤル・有料)

**修理についてのご相談窓口** ※番号をよくお確かめの上でおかけいただけますようお願いいたします

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の「故障かな?と思ったら」を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。

それでも正常に動作しない場合は、①型名②ご購入日③故障症状を具体的に、ご連絡ください。

**修理受付窓口**

■修理受付サイト

受付時間、よくあるお問い合わせなどはホームページをご確認ください

<https://pioneer.jp/rd/support/purpose/repair/>



■電話

【固定電話から】0120-5-81028 (無料)

【携帯電話・PHSから】050-3820-7550 (IP電話・有料)

または 0570-037-610 (ナビダイヤル・有料)

■ファックス 0120-5-81029 (無料)

**部品のご購入についてのご相談窓口** ※番号をよくお確かめの上でおかけいただけますようお願いいたします

●部品(付属品、取扱説明書など)のご購入について

**部品受注センター**

■部品受注サイト

受付時間、FAXでのご注文はホームページをご確認ください

<https://pioneer.jp/rd/support/purpose/parts/>



■電話

【固定電話から】0120-5-81095 (無料)

【携帯電話・PHSから】050-3820-7551 (IP電話・有料)

または 0570-057-140 (ナビダイヤル・有料)

■ファックス 0120-5-81096 (無料)

令和2年10月現在

記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。

VOL.10

パイオニア株式会社

〒113-0021

東京都文京区本駒込2-28-8 文京グリーンコート

© パイオニア株式会社 2020

< KFWZ20I > < CRA5355-A >

